

## 平成 27 年度 奨学金の返還者に関する属性調査結果

独立行政法人日本学生支援機構  
奨学事業戦略部奨学事業戦略課

## < 目 次 >

### I 調査の概要

### II 調査結果

#### 基礎情報

1. 奨学生本人の性別
2. 奨学本人の年齢
3. 奨学生本人の居住地
4. 奨学金の種類
5. 奨学金の貸与学種

#### 1 回答者および奨学金申請に関すること

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| (1)回答者              | 表 1-1 |
| (2)回答者と保証制度との関係     | 表 1-2 |
| (3)奨学金申請時の書類作成者     | 表 1-3 |
| (4)だれに奨学金の申請を勧められたか | 表 1-4 |
| (5)奨学金申請を決めた時期      | 表 1-5 |
| (6)返還義務を知った時期       | 表 1-6 |

#### 2 主な返還者について

- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| (1)主な返還者                    | 表 2-1         |
| (2)奨学生本人以外の場合の主な返還者と奨学生との関係 | 表 2-2         |
| (3)奨学金を返還するための原資            | 表 2-3         |
| (4)主な返還者と主な原資               | 表 2-4-1～2-4-2 |
| (5)主な返還者と学種との関係             | 表 2-5-1～2-5-2 |

#### 3 本人の職業について

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1)本人の職業        | 表 3-1-1～3-1-4 |
| (2)本人の職業と学種との関係 | 表 3-2-1～3-2-2 |

#### 4 本人の年収について

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1)本人の年収        | 表 4-1-1～4-1-6 |
| (2)本人の年収と学種との関係 | 表 4-2         |

#### 5 延滞の理由と今後の返還の見通しについて（延滞者のみ回答）

- |                                 |               |
|---------------------------------|---------------|
| (1)延滞が始まった理由(きっかけ)              | 表 5-1-1～5-1-3 |
| (2)延滞が継続している理由                  | 表 5-2-1～5-2-2 |
| (3)延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由との関係 | 表 5-3         |
| (4)延滞が継続している理由と主な返還者との関係        | 表 5-4         |
| (5)延滞が継続している理由と年収との関係           | 表 5-5         |
| (6)延滞が継続している理由と職業との関係           | 表 5-6         |
| (7)今後の返還の見通し                    | 表 5-7-1～5-7-2 |

6 返還期限の猶予制度について	
(1) 猶予制度の認知状況	表 6-1-1～6-1-2
(2) 猶予制度の認知状況と年齢との関係	表 6-2-1～6-2-2
(3) 猶予制度の認知状況と年収との関係	表 6-3-1～6-3-2
(4) 猶予制度の申請状況	表 6-4
(5) 猶予申請しない理由（過去に利用あり）	表 6-5
(6) 猶予申請しない理由（一度も利用なし）	表 6-6
(7) 猶予制度をどこから知ったか	表 6-7
(8) 猶予制度の猶予期間の長さ	表 6-8

7 無延滞者のこれまでの返還状況（無延滞者のみ回答）	
(1) 延滞経験の有無	表 7-1
(2) 延滞になったことを知ったきっかけ	表 7-2
(3) 延滞の解消方法	表 7-3
(4) 延滞をより早く解消できたと思われる返還方法	表 7-4
(5) 奨学金がどのように役にたったか	表 7-5

8 日本学生支援機構の奨学金制度の認知状況	
(1) 減額返還制度の認知状況	表 8-1
(2) 繰上返還制度の認知状況	表 8-2
(3) 個人信用情報機関への登録の認知状況	表 8-3

9 各種情報提供の利用等状況	
(1) スカラネット・パーソナルの認知状況	表 9-1-1
(2) 日本学生支援機構送付文書類の閲覧状況	表 9-2-1～10-2-2
(3) 日本学生支援機構のホームページ閲覧状況	表 9-3-1～10-3-2

10 日本学生支援機構の奨学金に対する意識	
(1) 日本学生支援機構からの情報提供	表 10-1
(2) 日本学生支援機構の奨学金に対する意識	表 10-2～11-3

#### <調査票>

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い（延滞者用）

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い（無延滞者用）

#### （注意）

- 1 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
- 2 単位は人である。
- 3 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
- 4 複数回答可の設問に関する表の各回答の比率は合計しても 100%にならない。  
※ 各回答の比率は回答者数の合計に対する比率である。
- 5 年齢区分の集計に誤りがあったため修正をして差し替えを行った。（平成 30 年 3 月）

## I 調査の概要

### 1 目的

奨学金の延滞者および無延滞者の属性を把握し、今後の奨学金回収方針に役立てることとする。

### 2 調査対象

(1) 平成 27 年 11 月末において、奨学金返還を 3 か月以上延滞している者（以下「延滞者」という。）を延滞年数および性別で層化し、無作為抽出した 19,658 人。

(2) 平成 27 年 11 月末において、奨学金返還を延滞していない者（以下「無延滞者」という。）を学種および性別で層化し、無作為抽出した 9,659 人。

### 3 調査方法

インターネットにより調査質問への回答を求め、回答のない者に対しては、質問を記入した調査票を送付のうえ、返信用封筒により返送を依頼した。

### 4 調査時期

平成 28 年 1 月

### 5 回答受入状況

	抽出人数	回答人数	回答率	参考母数(平成 27 年度末)
延滞者	19,658 人	2,941 人	15.0%	164,635 人
無延滞者	9,659 人	3,118 人	32.3%	3,483,982 人

※ 回答人数には無回答・不明回答を含まない。

(参考) 平成 27 年度末現在の状況

① 返還を要する者（返還期日到来分のみ）	3,811,494 人
② 返還している者	3,483,982 人
③ 1 日以上の延滞者	327,512 人
④ 3 か月以上の延滞者	164,635 人

## II 調査結果

### 基礎情報

#### 1 奨学生本人の性別

(単位:人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
男性	1,599	54.4%	1,506	48.3%
女性	1,342	45.6%	1,612	51.7%
計	2,941	100.0%	3,118	100.0%

#### 2 奨学生本人の年齢

(単位:人)

年齢(歳)	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
～24	131	4.5%	670	21.5%
25～29	545	18.5%	1,226	39.3%
30～34	1,239	42.1%	824	26.4%
35～39	668	22.7%	298	9.6%
40～44	230	7.8%	63	2.0%
45～49	82	2.8%	23	0.7%
50～	46	1.6%	14	0.4%
計	2,941	100.0%	3,118	100.0%

#### 3 奨学生本人の居住地域

(単位:人)

地域	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
北海道	155	5.3%	104	3.3%
東北	259	8.8%	231	7.4%
関東(東京除く)	445	15.1%	693	22.2%
東京	289	9.8%	340	10.9%
甲信越(山梨、長野、新潟)	69	2.3%	126	4.0%
東海(静岡、愛知、三重、岐阜)	190	6.5%	321	10.3%
北陸	43	1.5%	67	2.1%
近畿	524	17.8%	533	17.1%
中国	159	5.4%	208	6.7%
四国	88	3.0%	95	3.0%
九州・沖縄	720	24.5%	400	12.8%
計	2,941	100.0%	3,118	100.0%

#### 4 奨学金の種類

(単位:人)

種別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
第一種	1,312	44.6%	1,201	38.5%
第二種	1,300	44.2%	1,561	50.1%
両方	329	11.2%	356	11.4%
計	2,941	100.0%	3,118	100.0%

#### 5 奨学金の貸与学種

(単位:人)

学種	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
高等学校	694	23.6%	90	2.9%
高等専門学校	6	0.2%	31	1.0%
短期大学	255	8.7%	218	7.0%
大学	1,343	45.7%	1,884	60.4%
大学院	62	2.1%	378	12.1%
専修学校専門課程	574	19.5%	513	16.5%
専修学校高等課程	7	0.2%	4	0.1%
計	2,941	100.0%	3,118	100.0%

## 1 回答者および奨学金申請に関すること

### (1)回答者（択一）

延滞者では「奨学生本人」が回答している比率は73.7%であるのに対し、無延滞者では79.7%で無延滞者の方がやや高い。一方、延滞者では「本人の父母」が回答している比率が23.3%で、無延滞者の19.2%よりも高くなっている。

表 1-1 (単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	2,168	73.7%	2,486	79.7%
本人の父母	685	23.3%	598	19.2%
本人の兄弟姉妹	7	0.2%	4	0.1%
本人の祖父母	6	0.2%	3	0.1%
本人のおじ・おば	1	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	73	2.5%	27	0.9%
その他	1	0.0%	0	0.0%
計	2,941	100.0%	3,118	100.0%
無回答	0		0	

### (2)回答者と保証制度との関係（択一）

(1)で「奨学生本人」以外と回答した者に、保証制度との関係を質問した。

延滞者、無延滞者ともに「連帯保証人」と回答した者が約半数と最も多く、延滞状況による大きな差はみられない。

表 1-2

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
① 連帯保証人である	389	51.0%	302	48.3%
② 保証人である	191	25.0%	155	24.8%
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」である	37	4.8%	49	7.8%
④ 「①～③」の二つ以上にあてはまる	37	4.8%	35	5.6%
⑤ 「①～④」にあてはまらない	70	9.2%	43	6.9%
⑥ わからない	39	5.1%	41	6.6%
計	763	100.0%	625	100.0%
無回答	10		7	

### (3)奨学金申請時の書類作成者（択一）

奨学金申請時の書類作成者は、延滞者では「親（または祖父母等の家族、親戚）」が39.7%と最も高く、奨学生本人が書類作成に関わっている比率は「奨学生本人」31.9%、「本人と親等」20.0%で、合計51.9%と半数程度である。「書類作成者はわからない」との回答も8.0%みられる。一方、無延滞者では書類作成は「奨学生本人」が56.1%と半数以上で、「本人と親等」の22.5%を加えると合計78.6%となり、8割近くが書類作成に関わっている。

表 1-3

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
本人	930	31.9%	1,742	56.1%
親(または祖父母等の家族、親戚)	1,156	39.7%	603	19.4%
本人と親等	584	20.0%	697	22.5%
わからない	232	8.0%	60	1.9%
その他	11	0.4%	1	0.0%
計	2,913	100.0%	3,103	100.0%
無回答	28		15	

(4)だれに奨学金の申請を勧められたか（択一）

「親から勧められた」と回答した者は、延滞者では 54.5%であるのに対し、無延滞者では 71.5%と高い。一方、「学校の先生や職員に勧められた」と回答した者は延滞者では 24.7%と、無延滞者の 9.6%に比べて高くなっている。また「勧められなかった」比率は無延滞者で高くなっている。

表 1-4

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
①親(または祖父母等の家族、親戚)に勧められた	1,574	54.5%	2,214	71.5%
②学校の先生や職員に勧められた	715	24.7%	296	9.6%
③友人・知人に勧められた	70	2.4%	42	1.4%
④「①～③」以外の人に勧められた	16	0.6%	7	0.2%
⑤勧められなかった	249	8.6%	435	14.0%
計	2,889	100.0%	3,097	100.0%
無回答	52		21	

(5)奨学金申請を決めた時期（択一）

大学、短期大学、専修学校（専門課程）で奨学金の貸与を受けた者に、奨学金申請を決めた時期を質問した。

延滞者、無延滞者とも「高校3年生の時点」と回答した者の比率が最も高い。「高校2年生以前」を合計すると、延滞者 9.4%に対し、無延滞者 15.5%となり、無延滞者の方が、早い時期に奨学金申請を決める者がやや多くなっている。

表 1-5

(単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
高校入学より前	87	3.6%	184	6.2%
高校1年生の時点	64	2.6%	88	2.9%
高校2年生の時点	78	3.2%	191	6.4%
高校3年生の時点	1,011	41.4%	1,383	46.3%
高校卒業後	813	33.3%	971	32.5%
わからない	389	15.9%	167	5.6%
計	2,442	100.0%	2,984	100.0%

(6)返還義務を知った時期（択一）

「申込手続きを行う前」に返還義務を知った者は、無延滞者では88.6%と9割近いのに対し、延滞者では51.2%と約半数にとどまり、申込手続きまでの返還義務の認識が十分ではないことがうかがえる。また延滞者では、貸与終了後に返還義務を知った者の合計は20.4%で、その半数の10.9%は「延滞督促を受けてから知った」と回答している。

表 1-6

(単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,478	51.2%	2,752	88.6%
申込手続中	367	12.7%	181	5.8%
貸与中	184	6.4%	76	2.4%
貸与終了時	87	3.0%	19	0.6%
貸与終了後～返還開始前	116	4.0%	20	0.6%
返還開始～督促前	158	5.5%	13	0.4%
延滞督促を受けてから	314	10.9%	3	0.1%
わからない	155	5.4%	34	1.1%
その他	28	1.0%	7	0.2%
計	2,887	100.0%	3,105	100.0%
無回答	54		13	

(参考) 延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,790	49.5%	2,243	56.1%	2,073	54.7%	2,295	55.8%
申込手続中	468	12.9%	410	10.2%	477	12.6%	631	15.4%
貸与中	239	6.6%	211	5.3%	219	5.8%	223	5.4%
貸与終了時	127	3.5%	129	3.2%	150	4.0%	156	3.8%
貸与終了後～返還開始前	181	5.0%	181	4.5%	174	4.6%	185	4.5%
返還開始～督促前	181	5.0%	164	4.1%	132	3.5%	-	-
延滞督促を受けてから	355	9.8%	377	9.4%	308	8.1%	406	9.9%
わからない	239	6.6%	251	6.3%	224	5.9%	183	4.5%
その他	39	1.1%	35	0.9%	35	0.9%	31	0.8%
計	3,619	100.0%	4,001	100.0%	3,792	100.0%	4,110	100.0%
無回答	145		138		81		59	

(参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,951	90.3%	2,319	92.5%	2,240	90.6%	1,013	90.8%
申込手続中	114	5.3%	98	3.9%	123	5.0%	67	6.0%
貸与中	40	1.9%	33	1.3%	48	1.9%	17	1.5%
貸与終了時	14	0.6%	12	0.5%	13	0.5%	3	0.3%
貸与終了後～返還開始前	16	0.7%	16	0.6%	20	0.8%	10	0.9%
返還開始～督促前	2	0.1%	6	0.2%	6	0.2%	-	-
延滞督促を受けてから	4	0.2%	4	0.2%	4	0.2%	1	0.1%
わからない	17	0.8%	17	0.7%	17	0.7%	4	0.4%
その他	2	0.1%	3	0.1%	2	0.1%	1	0.1%
計	2,160	100.0%	2,508	100.0%	2,473	100.0%	1,116	100.0%
無回答	10		14		4		1	



## 2 主な返還者について

### (1)主な返還者（択一）

「奨学生本人」が返還している比率は、延滞者では71.2%であるのに対し、無延滞者では85.9%と高い。一方「本人の父母」が返還している比率は、延滞者では25.7%と、無延滞者の11.5%の2倍以上である。

表 2-1

(単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	2,075	71.2%	2,669	85.9%
本人の父母	750	25.7%	356	11.5%
本人の兄弟姉妹	2	0.1%	0	0.0%
本人の祖父母	9	0.3%	2	0.1%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	50	1.7%	72	2.3%
その他	29	1.0%	8	0.3%
計	2,915	100.0%	3,107	100.0%
無回答	26		11	

(参考) 延滞者

(単位:人)

区分	参考					
	平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	2,410	65.2%	2,629	65.1%	2,437	64.5%
本人の父母	1,151	31.1%	1,243	30.8%	1,204	31.9%
本人の兄弟姉妹	12	0.3%	13	0.3%	9	0.2%
本人の祖父母	9	0.2%	8	0.2%	7	0.2%
本人のおじ・おば	4	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	52	1.4%	93	2.3%	86	2.3%
その他	58	1.6%	50	1.2%	36	1.0%
計	3,696	100.0%	4,036	100.0%	3,779	100.0%
無回答	68		103		94	

(参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	参考					
	平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,808	83.8%	2,110	84.1%	2,066	84.8%
本人の父母	300	13.9%	326	13.0%	318	13.1%
本人の兄弟姉妹	0	0.0%	3	0.1%	0	0.0%
本人の祖父母	0	0.0%	2	0.1%	1	0.0%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	42	1.9%	67	2.7%	38	1.6%
その他	8	0.4%	2	0.1%	12	0.5%
計	2,158	100.0%	2,510	100.0%	2,435	100.0%
無回答	12		12		42	

## (2)奨学生本人以外の場合の主な返還者と奨学生との関係 (択一)

表 2-2

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
① 連帯保証人である	375	45.4%	165	38.0%
② 保証人である	220	26.6%	102	23.5%
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」である	27	3.3%	20	4.6%
④ 「①～③」の二つ以上にあてはまる	36	4.4%	26	6.0%
⑤ 「①～④」にあてはまらない	74	9.0%	66	15.2%
⑥ わからない	94	11.4%	55	12.7%
計	826	100.0%	434	100.0%
無回答	14		4	

## (3)奨学金を返還するための原資 (択一)

表 2-3

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
給与など働いて得る収入	2,497	86.1%	2,937	94.6%
年金など	258	8.9%	47	1.5%
預貯金	43	1.5%	101	3.3%
その他	103	3.6%	20	0.6%
計	2,901	100.0%	3,105	100.0%
無回答	40		13	

## (4)主な返還者と主な原資

主な返還者と奨学金を返還するための原資との関連性をみた。

主な返還者が「奨学生本人」の場合、原資は延滞者、無延滞者ともに「給与など働いて得る収入」がほとんどである。一方、主な返還者が「本人の父母」である場合、奨学金を返還するための原資は「給与など働いて得る収入」の比率が、延滞者 62.0%に対し、無延滞者 80.2%とやや差がある。また、「年金など」は延滞者 32.3%に対し無延滞者 12.4%と、延滞者の父母の方が年金を返還に充てている比率が高くなっている。

表 2-4-1 (延滞者)

(単位:人)

原資	給与など働いて得る収入		年金など		預貯金		その他		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
主な返還者										
奨学生本人	1,962	95.1%	11	0.5%	35	1.7%	55	2.7%	2,063	100.0%
本人の父母	461	62.0%	240	32.3%	6	0.8%	37	5.0%	744	100.0%
本人の兄弟姉妹	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	2	100.0%
本人の祖父母	2	22.2%	6	66.7%	1	11.1%	0	0.0%	9	100.0%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
本人の配偶者	46	92.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.0%	50	100.0%
その他	22	75.9%	1	3.4%	1	3.4%	5	17.2%	29	100.0%
計	2,494	86.1%	258	8.9%	43	1.5%	102	3.5%	2,897	100.0%

表 2-4-2 (無延滞者)

(単位:人)

原資	給与など働いて得る収入		年金など		預貯金		その他		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
主な返還者										
奨学生本人	2,576	96.6%	3	0.1%	77	2.9%	10	0.4%	2,666	100.0%
本人の父母	279	80.2%	43	12.4%	19	5.5%	7	2.0%	348	100.0%
本人の兄弟姉妹	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
本人の祖父母	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
本人の配偶者	68	95.8%	0	0.0%	3	4.2%	0	0.0%	71	100.0%
その他	5	62.5%	0	0.0%	1	12.5%	2	25.0%	8	100.0%
計	2,928	94.6%	47	1.5%	100	3.2%	19	0.6%	3,094	100.0%

(5) 主な返還者と学種との関係

主な返還者と貸与を受けた学種の関連性をみた。

延滞者、無延滞者ともに上級校ほど「奨学生本人」が返還している比率が高い傾向がある。なお無延滞者の方が学種による差が少ない（大学院－高等学校＝延滞者 27.1%、無延滞者 13.1%）。

表 2-5-1 (延滞者)

(単位:人)

主な返還者	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	413	60.3%	3	50.0%	179	70.2%	994	74.7%	54	87.1%	426	74.7%	6	85.7%	2,075	71.2%
本人の父母	247	36.1%	3	50.0%	70	27.5%	298	22.4%	7	11.3%	124	21.8%	1	14.3%	750	25.7%
本人の兄弟姉妹	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
本人の祖父母	3	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.3%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	9	0.3%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	14	2.0%	0	0.0%	4	1.6%	20	1.5%	1	1.6%	11	1.9%	0	0.0%	50	1.7%
その他	6	0.9%	0	0.0%	2	0.8%	14	1.1%	0	0.0%	7	1.2%	0	0.0%	29	1.0%
計	685	100.0%	6	100.0%	255	100.0%	1,330	100.0%	62	100.0%	570	100.0%	7	100.0%	2,915	100.0%

表 2-5-2 (無延滞者)

(単位:人)

主な返還者	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	70	78.7%	25	80.6%	191	88.0%	1,588	84.6%	347	91.8%	446	87.1%	2	50.0%	2,669	85.9%
本人の父母	16	18.0%	5	16.1%	19	8.8%	241	12.8%	20	5.3%	53	10.4%	2	50.0%	356	11.5%
本人の兄弟姉妹	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の祖父母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	3	3.4%	1	3.2%	7	3.2%	37	2.0%	11	2.9%	13	2.5%	0	0.0%	72	2.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.3%
計	89	100.0%	31	100.0%	217	100.0%	1,876	100.0%	378	100.0%	512	100.0%	4	100.0%	3,107	100.0%

### 3 本人の職業について

#### (1)本人の職業（択一）

本人の職業について、延滞者では「(雇用期限有りを含めた)常勤社(職)員」は47.5%、「非常勤社(職)員」20.5%、「無職・失業中/休職中」11.4%となっている。これに対し、無延滞者では「(雇用期限有りを含めた)常勤社(職)員」は73.7%、「非常勤社(職)員」10.6%、「無職・失業中/休職中」3.9%となっており、無延滞者の方が安定した就業状況にあるといえる。

男女別でみると、延滞者、無延滞者ともに、男性の方が「常勤社(職)員」の比率が20%以上高い。女性を延滞状況別にみると、延滞者では「常勤社(職)員」32.7%、「非常勤社(職)員」27.4%と常勤と非常勤の差は小さいのに対し、無延滞者では「常勤社(職)員」64.4%、「非常勤社(職)員」14.7%と常勤が非常勤を大きく上回っている。なお、「専業主婦」である比率は延滞者の方がやや高いものの、顕著な差はない(延滞者：14.0%、無延滞者：10.4%)。(表3-1-2)

経年変化をみると、平成23年度以降、「無職・失業中/休職中」が延滞者、無延滞者ともにわずかずつではあるが減少し続けている。特に延滞者の「~24歳」で、「無職・失業中/休職中」が26年度の27.8%から27年度の17.7%へと10ポイント以上減少している。ただし、形態としては、「常勤社(職)員」よりも、「非常勤社(職)員」での就業が増えている(26年度：19.5%→27年度：30.8%)。(表3-1-3)

表3-1-1

(単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	1,185	40.6%	2,146	69.0%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	200	6.9%	146	4.7%
非常勤社(職)員	598	20.5%	331	10.6%
派遣社員	194	6.7%	77	2.5%
自営業/家業	156	5.3%	77	2.5%
学生(留学を含む)	12	0.4%	36	1.2%
専業主婦(夫)	186	6.4%	168	5.4%
無職・失業中/休職中	333	11.4%	122	3.9%
その他	52	1.8%	9	0.3%
計	2,916	100.0%	3,112	100.0%
無回答	25		6	

(注) 非常勤社(職)員：週あたりの勤務時間が短く、雇用期限があるもの。以下同様。

#### (参考) 延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	1,427	38.8%	1,475	36.2%	1,342	35.6%	1,410	34.5%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	245	6.7%	343	8.4%	247	6.6%	256	6.3%
非常勤社(職)員	594	16.1%	598	14.7%	568	15.1%	542	13.3%
派遣社員	241	6.5%	269	6.6%	253	6.7%	306	7.5%
自営業/家業	180	4.9%	273	6.7%	229	6.1%	211	5.2%
学生(留学を含む)	14	0.4%	30	0.7%	35	0.9%	48	1.2%
専業主婦(夫)	241	6.5%	311	7.6%	269	7.1%	328	8.0%
無職・失業中/休職中	572	15.5%	642	15.8%	686	18.2%	774	18.9%
その他	168	4.6%	132	3.2%	141	3.7%	212	5.2%
計	3,682	100.0%	4,073	100.0%	3,770	100.0%	4,087	100.0%
無回答	82		66		103			

(参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	1,522	70.3%	1,708	67.9%	1,594	64.5%	639	57.5%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	137	6.3%	141	5.6%	166	6.7%	61	5.5%
非常勤社(職)員	161	7.4%	187	7.4%	207	8.4%	85	7.7%
派遣社員	47	2.2%	74	2.9%	52	2.1%	33	3.0%
自営業/家業	52	2.4%	63	2.5%	70	2.8%	24	2.2%
学生(留学を含む)	29	1.3%	31	1.2%	100	4.0%	90	8.1%
専業主婦(夫)	105	4.8%	153	6.1%	127	5.1%	82	7.4%
無職・失業中/休職中	93	4.3%	134	5.3%	136	5.5%	71	6.4%
その他	20	0.9%	23	0.9%	20	0.8%	26	2.3%
計	2,166	100.0%	2,514	100.0%	2,472	100.0%	1,111	100.0%
無回答	4		8		5			

表 3-1-2 (男女別)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	842	53.2%	343	25.8%	1,185	40.6%	1,202	80.1%	944	58.6%	2,146	69.0%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	108	6.8%	92	6.9%	200	6.9%	53	3.5%	93	5.8%	146	4.7%
非常勤社(職)員	227	14.3%	371	27.9%	598	20.5%	93	6.2%	238	14.8%	331	10.6%
派遣社員	92	5.8%	102	7.7%	194	6.7%	27	1.8%	50	3.1%	77	2.5%
自営業/家業	111	7.0%	45	3.4%	156	5.3%	48	3.2%	29	1.8%	77	2.5%
学生(留学を含む)	7	0.4%	5	0.4%	12	0.4%	19	1.3%	17	1.1%	36	1.2%
専業主婦(夫)	0	0.0%	186	14.0%	186	6.4%	1	0.1%	167	10.4%	168	5.4%
無職・失業中/休職中	165	10.4%	168	12.6%	333	11.4%	52	3.5%	70	4.3%	122	3.9%
その他	32	2.0%	20	1.5%	52	1.8%	5	0.3%	4	0.2%	9	0.3%
計	1,584	100.0%	1,332	100.0%	2,916	100.0%	1,500	100.0%	1,612	100.0%	3,112	100.0%

表 3-1-3 (本人の年齢別/延滞者)

(単位:人)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	36	27.7%	214	39.5%	528	42.9%	286	43.2%	82	36.1%	29	36.7%	10	21.7%	1,185	40.6%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	8	6.2%	38	7.0%	90	7.3%	37	5.6%	19	8.4%	6	7.6%	2	4.3%	200	6.9%		
非常勤社(職)員	40	30.8%	119	22.0%	236	19.2%	128	19.3%	45	19.8%	18	22.8%	12	26.1%	598	20.5%		
派遣社員	8	6.2%	44	8.1%	82	6.7%	33	5.0%	18	7.9%	6	7.6%	3	6.5%	194	6.7%		
自営業/家業	3	2.3%	9	1.7%	57	4.6%	49	7.4%	23	10.1%	8	10.1%	7	15.2%	156	5.3%		
学生(留学を含む)	4	3.1%	1	0.2%	5	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	12	0.4%		
専業主婦(夫)	5	3.8%	41	7.6%	77	6.3%	53	8.0%	8	3.5%	1	1.3%	1	2.2%	186	6.4%		
無職・失業中/休職中	23	17.7%	73	13.5%	129	10.5%	69	10.4%	23	10.1%	8	10.1%	8	17.4%	333	11.4%		
その他	3	2.3%	3	0.6%	26	2.1%	6	0.9%	9	4.0%	2	2.5%	3	6.5%	52	1.8%		
計	130	100.0%	542	100.0%	1,230	100.0%	662	100.0%	227	100.0%	79	100.0%	46	100.0%	2,916	100.0%		

(参考)26年度

(単位:人)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	36	27.1%	286	39.3%	480	41.1%	280	43.1%	178	36.2%	116	36.4%	51	26.6%	1,427	38.8%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	11	8.3%	47	6.5%	68	5.8%	39	6.0%	36	7.3%	20	6.3%	24	12.5%	245	6.7%		
非常勤社(職)員	26	19.5%	120	16.5%	187	16.0%	90	13.9%	73	14.8%	53	16.6%	44	22.9%	593	16.1%		
派遣社員	11	8.3%	54	7.4%	87	7.4%	35	5.4%	33	6.7%	16	5.0%	5	2.6%	241	6.5%		
自営業/家業	1	0.8%	22	3.0%	43	3.7%	36	5.5%	35	7.1%	24	7.5%	19	9.9%	180	4.9%		
学生(留学を含む)	2	1.5%	5	0.7%	3	0.3%	2	0.3%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	14	0.4%		
専業主婦(夫)	4	3.0%	50	6.9%	97	8.3%	49	7.6%	23	4.7%	12	3.8%	6	3.1%	241	6.5%		
無職・失業中/休職中	37	27.8%	119	16.4%	160	13.7%	95	14.6%	75	15.2%	58	18.2%	28	14.6%	572	15.5%		
その他	5	3.8%	24	3.3%	44	3.8%	23	3.5%	37	7.5%	20	6.3%	15	7.8%	168	4.6%		
計	133	100.0%	727	100.0%	1,169	100.0%	649	100.0%	492	100.0%	319	100.0%	192	100.0%	3,681	100.0%		

表 3-1-4 (本人の年齢別/無延滞者)

(単位:人)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	459	68.7%	864	70.6%	558	67.9%	207	69.5%	39	61.9%	12	52.2%	7	50.0%	2,146	69.0%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	35	5.2%	55	4.5%	45	5.5%	7	2.3%	3	4.8%	1	4.3%	0	0.0%	146	4.7%		
非常勤社(職)員	94	14.1%	124	10.1%	69	8.4%	25	8.4%	9	14.3%	6	26.1%	4	28.6%	331	10.6%		
派遣社員	11	1.6%	35	2.9%	19	2.3%	10	3.4%	2	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	77	2.5%		
自営業/家業	4	0.6%	18	1.5%	24	2.9%	16	5.4%	9	14.3%	3	13.0%	3	21.4%	77	2.5%		
学生(留学を含む)	21	3.1%	9	0.7%	5	0.6%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	1.2%		
専業主婦(夫)	9	1.3%	59	4.8%	79	9.6%	20	6.7%	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	168	5.4%		
無職・失業中/休職中	34	5.1%	57	4.7%	21	2.6%	9	3.0%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	122	3.9%		
その他	1	0.1%	3	0.2%	2	0.2%	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.3%		
計	668	100.0%	1,224	100.0%	822	100.0%	298	100.0%	63	100.0%	23	100.0%	14	100.0%	3,112	100.0%		

(参考)26年度

(単位:人)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	310	69.8%	637	72.2%	383	69.6%	145	70.4%	33	60.0%	8	40.0%	6	66.7%	1,522	70.3%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	33	7.4%	54	6.1%	30	5.5%	12	5.8%	4	7.3%	3	15.0%	1	11.1%	137	6.3%		
非常勤社(職)員	45	10.1%	63	7.1%	32	5.8%	11	5.3%	5	9.1%	5	25.0%	0	0.0%	161	7.4%		
派遣社員	10	2.3%	24	2.7%	5	0.9%	7	3.4%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	47	2.2%		
自営業/家業	0	0.0%	16	1.8%	22	4.0%	9	4.4%	2	3.6%	3	15.0%	0	0.0%	52	2.4%		
学生(留学を含む)	13	2.9%	9	1.0%	3	0.5%	3	1.5%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	29	1.3%		
専業主婦(夫)	7	1.6%	32	3.6%	48	8.7%	15	7.3%	3	5.5%	0	0.0%	0	0.0%	105	4.8%		
無職・失業中/休職中	23	5.2%	38	4.3%	22	4.0%	2	1.0%	6	10.9%	0	0.0%	2	22.2%	93	4.3%		
その他	3	0.7%	9	1.0%	5	0.9%	2	1.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	20	0.9%		
計	444	100.0%	882	100.0%	550	100.0%	206	100.0%	55	100.0%	20	100.0%	9	100.0%	2,166	100.0%		

## (2)本人の職業と学種との関係

本人の職業と貸与を受けた学種の関連性をみた。

延滞者、無延滞者ともに上級校ほど「常勤社(職)員」の比率が高い傾向がある。

表 3-2-1 (延滞者)

(単位:人)

職業	学種		高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	230	33.7%	2	33.3%	74	29.4%	632	47.2%	25	41.0%	221	38.8%	1	14.3%	1,185	40.6%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	37	5.4%	1	16.7%	21	8.3%	105	7.8%	8	13.1%	28	4.9%	0	0.0%	200	6.9%		
非常勤社(職)員	177	25.9%	0	0.0%	61	24.2%	202	15.1%	15	24.6%	138	24.3%	5	71.4%	598	20.5%		
派遣社員	46	6.7%	1	16.7%	19	7.5%	86	6.4%	2	3.3%	40	7.0%	0	0.0%	194	6.7%		
自営業/家業	27	4.0%	1	16.7%	10	4.0%	85	6.4%	3	4.9%	30	5.3%	0	0.0%	156	5.3%		
学生(留学を含む)	2	0.3%	0	0.0%	2	0.8%	6	0.4%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	12	0.4%		
専業主婦(夫)	53	7.8%	0	0.0%	40	15.9%	55	4.1%	3	4.9%	34	6.0%	1	14.3%	186	6.4%		
無職・失業中/休職中	98	14.3%	1	16.7%	22	8.7%	140	10.5%	4	6.6%	68	12.0%	0	0.0%	333	11.4%		
その他	13	1.9%	0	0.0%	3	1.2%	27	2.0%	1	1.6%	8	1.4%	0	0.0%	52	1.8%		
計	683	100.0%	6	100.0%	252	100.0%	1,338	100.0%	61	100.0%	569	100.0%	7	100.0%	2,916	100.0%		

表 3-2-2 (無延滞者)

(単位:人)

職業	学種		高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	59	67.0%	27	87.1%	128	58.7%	1,328	70.5%	278	73.5%	323	63.3%	3	75.0%	2,146	69.0%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	6	6.8%	0	0.0%	15	6.9%	85	4.5%	20	5.3%	20	3.9%	0	0.0%	146	4.7%		
非常勤社(職)員	9	10.2%	1	3.2%	39	17.9%	176	9.3%	32	8.5%	74	14.5%	0	0.0%	331	10.6%		
派遣社員	3	3.4%	0	0.0%	8	3.7%	43	2.3%	6	1.6%	17	3.3%	0	0.0%	77	2.5%		
自営業/家業	0	0.0%	1	3.2%	5	2.3%	39	2.1%	16	4.2%	16	3.1%	0	0.0%	77	2.5%		
学生(留学を含む)	3	3.4%	0	0.0%	1	0.5%	25	1.3%	4	1.1%	3	0.6%	0	0.0%	36	1.2%		
専業主婦(夫)	5	5.7%	1	3.2%	15	6.9%	96	5.1%	19	5.0%	32	6.3%	0	0.0%	168	5.4%		
無職・失業中/休職中	2	2.3%	1	3.2%	7	3.2%	83	4.4%	3	0.8%	25	4.9%	1	25.0%	122	3.9%		
その他	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.3%		
計	88	100.0%	31	100.0%	218	100.0%	1,883	100.0%	378	100.0%	510	100.0%	4	100.0%	3,112	100.0%		

4 本人の年収について

(1)本人の年収（択一）

本人の年収については「年収 300 万円未満」と回答した比率は、延滞者では合計 77.1%であるのに対し、無延滞者では合計 55.8%で、延滞者の方が 20%以上上回っている。なお、当該所得層の比率は、平成 23 年度以降は減少傾向にある（平成 23 年度は延滞者:83.4%、無延滞者:66.4%）。

表 4-1-1 (単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
0円	334	11.7%	181	5.9%
1円～100万円未満	485	17.0%	241	7.8%
100万～200万円未満	726	25.4%	483	15.7%
200万～300万円未満	657	23.0%	812	26.4%
300万～400万円未満	390	13.6%	571	18.6%
400万～500万円未満	163	5.7%	354	11.5%
500万～600万円未満	65	2.3%	198	6.4%
600万～700万円未満	22	0.8%	95	3.1%
700万～800万円未満	8	0.3%	59	1.9%
800万～900万円未満	5	0.2%	26	0.8%
900万～1000万円未満	3	0.1%	19	0.6%
1000万円以上	1	0.0%	34	1.1%
計	2,859	100.0%	3,073	100.0%
無回答	82		45	

(参考) 延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	500	14.1%	592	15.1%	668	18.0%	743	18.5%
1円～100万円未満	687	19.4%	754	19.3%	720	19.4%	841	20.9%
100万～200万円未満	859	24.2%	937	24.0%	949	25.6%	954	23.7%
200万～300万円未満	727	20.5%	852	21.8%	741	20.0%	817	20.3%
300万～400万円未満	437	12.3%	430	11.0%	376	10.1%	414	10.3%
400万～500万円未満	175	4.9%	198	5.1%	252	6.8%	255	6.3%
500万～600万円未満	80	2.3%	82	2.1%				
600万～700万円未満	35	1.0%	34	0.9%				
700万～800万円未満	22	0.6%	15	0.4%				
800万～900万円未満	9	0.3%	5	0.1%				
900万～1000万円未満	7	0.2%	9	0.2%	16.9%	16.3%		
1000万円以上	5	0.1%	4	0.1%				
計	3,543	100.0%	3,912	100.0%	3,706	100.0%	4,024	100.0%
無回答	221		227		167			

(参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	135	6.3%	167	6.7%	201	8.2%	129	11.7%
1円～100万円未満	153	7.2%	232	9.3%	227	9.3%	151	13.7%
100万～200万円未満	334	15.6%	382	15.4%	390	16.0%	189	17.2%
200万～300万円未満	552	25.8%	636	25.6%	647	26.5%	262	23.8%
300万～400万円未満	450	21.1%	486	19.6%	449	18.4%	185	16.8%
400万～500万円未満	226	10.6%	287	11.6%	529	21.7%	184	16.7%
500万～600万円未満	135	6.3%	127	5.1%				
600万～700万円未満	73	3.4%	67	2.7%				
700万～800万円未満	35	1.6%	40	1.6%				
800万～900万円未満	15	0.7%	13	0.5%				
900万～1000万円未満	13	0.6%	12	0.5%	40.1%	33.5%		
1000万円以上	16	0.7%	34	1.4%				
計	2,137	100.0%	2,483	100.0%	2,443	100.0%	1,100	100.0%
無回答	33		39		34			

男女別でみると、「年収 0～100 万円未満」と回答した者は、延滞者では男性 16.8%、女性 42.5%、無延滞者では男性 7.4%、女性 19.6%となっている。

職業別でみると、延滞、無延滞ともに「常勤社(職)員」は年収の幅が広いのに対し、「非常勤社(職)員」は「1～200 万円未満」に集中している。(表 4-1-3、表 4-1-4)

年齢別では、延滞者では年齢が上がっても年収にさほど変化が見られないのに対し、無延滞者では年齢層が上がるとともに年収も上がっている。(表 4-1-5、表 4-1-6)

表 4-1-2 (男女別)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	93	6.0%	241	18.3%	334	11.7%	31	2.1%	150	9.4%	181	5.9%
1円～100万円未満	166	10.8%	319	24.2%	485	17.0%	78	5.3%	163	10.2%	241	7.8%
100万～200万円未満	340	22.0%	386	29.3%	726	25.4%	154	10.4%	329	20.6%	483	15.7%
200万～300万円未満	420	27.2%	237	18.0%	657	23.0%	347	23.5%	465	29.2%	812	26.4%
300万～400万円未満	290	18.8%	100	7.6%	390	13.6%	300	20.3%	271	17.0%	571	18.6%
400万～500万円未満	135	8.7%	28	2.1%	163	5.7%	222	15.0%	132	8.3%	354	11.5%
500万～600万円未満	62	4.0%	3	0.2%	65	2.3%	145	9.8%	53	3.3%	198	6.4%
600万～700万円未満	21	1.4%	1	0.1%	22	0.8%	82	5.5%	13	0.8%	95	3.1%
700万～800万円未満	8	0.5%	0	0.0%	8	0.3%	52	3.5%	7	0.4%	59	1.9%
800万～900万円未満	5	0.3%	0	0.0%	5	0.2%	24	1.6%	2	0.1%	26	0.8%
900万～1000万円未満	2	0.1%	1	0.1%	3	0.1%	17	1.2%	2	0.1%	19	0.6%
1000万円以上	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%	26	1.8%	8	0.5%	34	1.1%
計	1,543	100.0%	1,316	100.0%	2,859	100.0%	1,478	100.0%	1,595	100.0%	3,073	100.0%

表 4-1-3 (年収と職業/延滞者)

(単位:人)

職業	年収	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満		300万～400万円未満		400万～500万円未満	
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員		1	0.1%	26	5.4%	192	26.6%	392	59.8%	320	82.1%	142	87.1%
常勤社(職)員(雇用期限がある)		0	0.0%	8	1.7%	82	11.3%	72	11.0%	27	6.9%	6	3.7%
非常勤社(職)員		9	2.7%	241	50.1%	262	36.2%	62	9.5%	8	2.1%	6	3.7%
派遣社員		1	0.3%	23	4.8%	86	11.9%	68	10.4%	10	2.6%	2	1.2%
自営業/家業		2	0.6%	46	9.6%	47	6.5%	32	4.9%	16	4.1%	5	3.1%
学生(留学を含む)		7	2.1%	3	0.6%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
専業主婦(夫)		150	45.0%	25	5.2%	4	0.6%	1	0.2%	1	0.3%	0	0.0%
無職・失業中/休職中		156	46.8%	92	19.1%	41	5.7%	22	3.4%	4	1.0%	2	1.2%
その他		7	2.1%	17	3.5%	7	1.0%	6	0.9%	4	1.0%	0	0.0%
計		333	100.0%	481	100.0%	723	100.0%	655	100.0%	390	100.0%	163	100.0%

職業	年収	500万～600万円未満		600万～700万円未満		700万～800万円未満		800万～900万円未満		900万～1000万円未満		1000万円以上		計	
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員		58	92.1%	21	95.5%	8	100.0%	3	60.0%	0	0.0%	1	100.0%	1,164	40.9%
常勤社(職)員(雇用期限がある)		1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	197	6.9%
非常勤社(職)員		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	588	20.7%
派遣社員		1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	191	6.7%
自営業/家業		2	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	33.3%	0	0.0%	152	5.3%
学生(留学を含む)		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	0.4%
専業主婦(夫)		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	181	6.4%
無職・失業中/休職中		0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	320	11.2%
その他		1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	42	1.5%
計		63	100.0%	22	100.0%	8	100.0%	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	2,847	100.0%



表 4-1-4 (年収と職業/無延滞者)

(単位:人)

職業	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満		300万～400万円未満		400万～500万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	4	2.2%	19	7.9%	206	42.9%	628	77.5%	527	92.5%	335	94.6%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	0	0.0%	8	3.3%	47	9.8%	59	7.3%	12	2.1%	8	2.3%
非常勤社(職)員	3	1.7%	116	48.1%	149	31.0%	48	5.9%	6	1.1%	3	0.8%
派遣社員	0	0.0%	9	3.7%	26	5.4%	33	4.1%	6	1.1%	1	0.3%
自営業/家業	2	1.1%	11	4.6%	14	2.9%	21	2.6%	5	0.9%	2	0.6%
学生(留学を含む)	9	5.0%	22	9.1%	4	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
専業主婦(夫)	122	67.4%	28	11.6%	11	2.3%	2	0.2%	1	0.2%	0	0.0%
無職・失業中/休職中	40	22.1%	28	11.6%	22	4.6%	18	2.2%	11	1.9%	3	0.8%
その他	1	0.6%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%	2	0.4%	1	0.3%
計	181	100.0%	241	100.0%	480	100.0%	810	100.0%	570	100.0%	354	100.0%

職業	500万～600万円未満		600万～700万円未満		700万～800万円未満		800万～900万円未満		900万～1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
常勤社(職)員	187	94.4%	92	96.8%	54	91.5%	22	84.6%	17	89.5%	25	73.5%	2,116	69.0%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	4	2.0%	2	2.1%	1	1.7%	1	3.8%	0	0.0%	1	2.9%	143	4.7%
非常勤社(職)員	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%	1	2.9%	329	10.7%
派遣社員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	75	2.4%
自営業/家業	5	2.5%	1	1.1%	3	5.1%	1	3.8%	2	10.5%	7	20.6%	74	2.4%
学生(留学を含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	1.2%
専業主婦(夫)	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	165	5.4%
無職・失業中/休職中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	122	4.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.2%
計	198	100.0%	95	100.0%	59	100.0%	26	100.0%	19	100.0%	34	100.0%	3,067	100.0%

表 4-1-5 (年収と年齢/延滞者)

(単位:人)

年収	～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～49		50～		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	22	16.9%	66	12.4%	127	10.5%	90	13.9%	18	8.2%	6	7.8%	5	11.6%	334	11.7%
1円～100万円未満	37	28.5%	93	17.4%	195	16.1%	97	15.0%	46	21.0%	14	18.2%	3	7.0%	485	17.0%
100万～200万円未満	41	31.5%	167	31.3%	287	23.8%	151	23.3%	54	24.7%	18	23.4%	8	18.6%	726	25.4%
200万～300万円未満	21	16.2%	126	23.6%	318	26.3%	129	19.9%	37	16.9%	14	18.2%	12	27.9%	657	23.0%
300万～400万円未満	9	6.9%	56	10.5%	180	14.9%	97	15.0%	34	15.5%	7	9.1%	7	16.3%	390	13.6%
400万～500万円未満	0	0.0%	23	4.3%	72	6.0%	42	6.5%	14	6.4%	8	10.4%	4	9.3%	163	5.7%
500万～600万円未満	0	0.0%	3	0.6%	18	1.5%	26	4.0%	14	6.4%	2	2.6%	2	4.7%	65	2.3%
600万～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	5	0.4%	9	1.4%	1	0.5%	6	7.8%	1	2.3%	22	0.8%
700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%	3	0.5%	1	0.5%	1	1.3%	0	0.0%	8	0.3%
800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%	2	0.3%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	5	0.2%
900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	1	0.0%
計	130	100.0%	534	100.0%	1,208	100.0%	648	100.0%	219	100.0%	77	100.0%	43	100.0%	2,859	100.0%

表 4-1-6 (年収と年齢/無延滞者)

(単位:人)

年収	～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～49		50～		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	22	3.3%	64	5.3%	74	9.1%	21	7.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	181	5.9%
1円～100万円未満	77	11.6%	91	7.5%	51	6.3%	15	5.1%	5	8.2%	1	4.5%	1	7.1%	241	7.8%
100万～200万円未満	197	29.8%	187	15.5%	64	7.9%	22	7.5%	6	9.8%	4	18.2%	3	21.4%	483	15.7%
200万～300万円未満	276	41.8%	354	29.3%	137	16.8%	38	13.0%	3	4.9%	2	9.1%	2	14.3%	812	26.4%
300万～400万円未満	76	11.5%	296	24.5%	153	18.8%	40	13.7%	3	4.9%	2	9.1%	1	7.1%	571	18.6%
400万～500万円未満	13	2.0%	141	11.7%	146	17.9%	41	14.0%	5	8.2%	5	22.7%	3	21.4%	354	11.5%
500万～600万円未満	0	0.0%	47	3.9%	96	11.8%	42	14.3%	13	21.3%	0	0.0%	0	0.0%	198	6.4%
600万～700万円未満	0	0.0%	16	1.3%	43	5.3%	28	9.6%	8	13.1%	0	0.0%	0	0.0%	95	3.1%
700万～800万円未満	0	0.0%	4	0.3%	27	3.3%	22	7.5%	4	6.6%	2	9.1%	0	0.0%	59	1.9%
800万～900万円未満	0	0.0%	3	0.2%	11	1.3%	8	2.7%	4	6.6%	0	0.0%	0	0.0%	26	0.8%
900万～1000万円未満	0	0.0%	2	0.2%	6	0.7%	8	2.7%	2	3.3%	1	4.5%	0	0.0%	19	0.6%
1000万円以上	0	0.0%	2	0.2%	7	0.9%	8	2.7%	8	13.1%	5	22.7%	4	28.6%	34	1.1%
計	661	100.0%	1,207	100.0%	815	100.0%	293	100.0%	61	100.0%	22	100.0%	14	100.0%	3,073	100.0%

## (2)本人の年収と学種との関係

表 4-2

(学種合計)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	93	6.0%	241	18.3%	334	11.7%	31	2.1%	150	9.4%	181	5.9%
1円～100万円未満	166	10.8%	319	24.2%	485	17.0%	78	5.3%	163	10.2%	241	7.8%
100万～200万円未満	340	22.0%	386	29.3%	726	25.4%	154	10.4%	329	20.6%	483	15.7%
200万～300万円未満	420	27.2%	237	18.0%	657	23.0%	347	23.5%	465	29.2%	812	26.4%
300万～400万円未満	290	18.8%	100	7.6%	390	13.6%	300	20.3%	271	17.0%	571	18.6%
400万～500万円未満	135	8.7%	28	2.1%	163	5.7%	222	15.0%	132	8.3%	354	11.5%
500万～600万円未満	62	4.0%	3	0.2%	65	2.3%	145	9.8%	53	3.3%	198	6.4%
600万～700万円未満	21	1.4%	1	0.1%	22	0.8%	82	5.5%	13	0.8%	95	3.1%
700万～800万円未満	8	0.5%	0	0.0%	8	0.3%	52	3.5%	7	0.4%	59	1.9%
800万～900万円未満	5	0.3%	0	0.0%	5	0.2%	24	1.6%	2	0.1%	26	0.8%
900万～1000万円未満	2	0.1%	1	0.1%	3	0.1%	17	1.2%	2	0.1%	19	0.6%
1000万円以上	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%	26	1.8%	8	0.5%	34	1.1%
計	1,543	100.0%	1,316	100.0%	2,859	100.0%	1,478	100.0%	1,595	100.0%	3,073	100.0%

(高等学校・高等専門学校・短期大学)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	30	10.0%	78	21.3%	108	16.2%	0	0.0%	5	9.6%	5	5.6%
1円～100万円未満	34	11.3%	112	30.5%	146	21.9%	0	0.0%	8	15.4%	8	9.0%
100万～200万円未満	83	27.7%	115	31.3%	198	29.7%	2	5.4%	10	19.2%	12	13.5%
200万～300万円未満	76	25.3%	48	13.1%	124	18.6%	15	40.5%	9	17.3%	24	27.0%
300万～400万円未満	47	15.7%	8	2.2%	55	8.2%	6	16.2%	10	19.2%	16	18.0%
400万～500万円未満	20	6.7%	5	1.4%	25	3.7%	5	13.5%	8	15.4%	13	14.6%
500万～600万円未満	6	2.0%	1	0.3%	7	1.0%	7	18.9%	0	0.0%	7	7.9%
600万～700万円未満	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
700万～800万円未満	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%	1	2.7%	0	0.0%	1	1.1%
800万～900万円未満	2	0.7%	0	0.0%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.7%	2	3.8%	3	3.4%
計	300	100.0%	367	100.0%	667	100.0%	37	100.0%	52	100.0%	89	100.0%
0円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	1	11.1%	2	6.5%
1円～100万円未満	1	20.0%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100万～200万円未満	1	20.0%	0	0.0%	1	16.7%	1	4.5%	1	11.1%	2	6.5%
200万～300万円未満	2	40.0%	1	100.0%	3	50.0%	5	22.7%	2	22.2%	7	22.6%
300万～400万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	31.8%	4	44.4%	11	35.5%
400万～500万円未満	1	20.0%	0	0.0%	1	16.7%	5	22.7%	0	0.0%	5	16.1%
500万～600万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	1	11.1%	2	6.5%
600万～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	1	3.2%
700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	1	3.2%
800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	5	100.0%	1	100.0%	6	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	31	100.0%
0円	1	2.7%	47	22.2%	48	19.3%	0	0.0%	19	9.3%	19	8.8%
1円～100万円未満	5	13.5%	40	18.9%	45	18.1%	0	0.0%	26	12.7%	26	12.0%
100万～200万円未満	8	21.6%	80	37.7%	88	35.3%	3	25.0%	63	30.7%	66	30.4%
200万～300万円未満	15	40.5%	29	13.7%	44	17.7%	5	41.7%	77	37.6%	82	37.8%
300万～400万円未満	5	13.5%	14	6.6%	19	7.6%	2	16.7%	15	7.3%	17	7.8%
400万～500万円未満	1	2.7%	2	0.9%	3	1.2%	2	16.7%	3	1.5%	5	2.3%
500万～600万円未満	2	5.4%	0	0.0%	2	0.8%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.5%
600万～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.5%
700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	37	100.0%	212	100.0%	249	100.0%	12	100.0%	205	100.0%	217	100.0%

## (大学・大学院)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
大学	0円	46	5.1%	64	15.6%	110	8.4%	23	2.4%	86	9.7%	109	5.9%
	1円～100万円未満	87	9.7%	82	20.0%	169	12.9%	61	6.3%	78	8.8%	139	7.5%
	100万円～200万円未満	171	19.1%	101	24.6%	272	20.8%	98	10.1%	149	16.8%	247	13.3%
	200万円～300万円未満	250	27.9%	95	23.1%	345	26.4%	240	24.8%	255	28.8%	495	26.7%
	300万円～400万円未満	173	19.3%	51	12.4%	224	17.1%	204	21.1%	188	21.2%	392	21.2%
	400万円～500万円未満	97	10.8%	16	3.9%	113	8.6%	152	15.7%	80	9.0%	232	12.5%
	500万円～600万円未満	43	4.8%	0	0.0%	43	3.3%	80	8.3%	34	3.8%	114	6.2%
	600万円～700万円未満	19	2.1%	1	0.2%	20	1.5%	51	5.3%	7	0.8%	58	3.1%
	700万円～800万円未満	7	0.8%	0	0.0%	7	0.5%	24	2.5%	2	0.2%	26	1.4%
	800万円～900万円未満	2	0.2%	0	0.0%	2	0.2%	14	1.4%	1	0.1%	15	0.8%
	900万円～1000万円未満	1	0.1%	1	0.2%	2	0.2%	9	0.9%	0	0.0%	9	0.5%
	1000万円以上	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	11	1.1%	5	0.6%	16	0.9%
計	897	100.0%	411	100.0%	1,308	100.0%	967	100.0%	885	100.0%	1,852	100.0%	
大学院	0円	1	2.6%	4	20.0%	5	8.6%	3	1.2%	13	11.2%	16	4.3%
	1円～100万円未満	1	2.6%	3	15.0%	4	6.9%	6	2.3%	10	8.6%	16	4.3%
	100万円～200万円未満	4	10.5%	3	15.0%	7	12.1%	6	2.3%	14	12.1%	20	5.3%
	200万円～300万円未満	7	18.4%	4	20.0%	11	19.0%	20	7.8%	22	19.0%	42	11.2%
	300万円～400万円未満	11	28.9%	3	15.0%	14	24.1%	50	19.4%	17	14.7%	67	17.9%
	400万円～500万円未満	7	18.4%	2	10.0%	9	15.5%	42	16.3%	16	13.8%	58	15.5%
	500万円～600万円未満	6	15.8%	1	5.0%	7	12.1%	48	18.6%	11	9.5%	59	15.8%
	600万円～700万円未満	1	2.6%	0	0.0%	1	1.7%	28	10.9%	4	3.4%	32	8.6%
	700万円～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	26	10.1%	5	4.3%	31	8.3%
	800万円～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	3.5%	1	0.9%	10	2.7%
	900万円～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.3%	2	1.7%	8	2.1%
	1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	5.4%	1	0.9%	15	4.0%
計	38	100.0%	20	100.0%	58	100.0%	258	100.0%	116	100.0%	374	100.0%	

## (専修学校専門課程・専修学校高等課程)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
専修学校専門課程	0円	15	5.7%	47	15.7%	62	11.0%	4	2.2%	25	7.7%	29	5.7%
	1円～100万円未満	38	14.4%	80	26.7%	118	20.9%	11	6.1%	41	12.6%	52	10.3%
	100万円～200万円未満	71	26.9%	87	29.0%	158	28.0%	44	24.3%	92	28.3%	136	26.9%
	200万円～300万円未満	70	26.5%	59	19.7%	129	22.9%	62	34.3%	99	30.5%	161	31.8%
	300万円～400万円未満	54	20.5%	23	7.7%	77	13.7%	31	17.1%	36	11.1%	67	13.2%
	400万円～500万円未満	9	3.4%	3	1.0%	12	2.1%	15	8.3%	25	7.7%	40	7.9%
	500万円～600万円未満	5	1.9%	1	0.3%	6	1.1%	9	5.0%	6	1.8%	15	3.0%
	600万円～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%	1	0.3%	3	0.6%
	700万円～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	800万円～900万円未満	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.2%
	900万円～1000万円未満	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%	2	1.1%	0	0.0%	2	0.4%
	1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	264	100.0%	300	100.0%	564	100.0%	181	100.0%	325	100.0%	506	100.0%	
専修学校高等課程	0円	0	0.0%	1	20.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%
	1円～100万円未満	0	0.0%	2	40.0%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	100万円～200万円未満	2	100.0%	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	200万円～300万円未満	0	0.0%	1	20.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%
	300万円～400万円未満	0	0.0%	1	20.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	25.0%
	400万円～500万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	25.0%
	500万円～600万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	600万円～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	700万円～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	800万円～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	900万円～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	2	100.0%	5	100.0%	7	100.0%	1	100.0%	3	100.0%	4	100.0%	

5 延滞の理由と今後の返還の見通しについて（延滞者のみ回答）

(1)延滞が始まった理由（きっかけ）

延滞が始まった理由（きっかけ）は、「家計の収入が減った」が76.1%（複数回答）で最も高く、「最たる理由（択一）」でも48.4%で最も高い。次いで「家計の支出が増えた」50.9%（以下、すべて複数回答結果）、「忙しかった」23.1%、「入院、事故、災害等にあったため」22.6%である。「返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス」と回答した者も17.9%いる。なお、男女別に顕著な差は見られない。

表 5-1-1 ※平成25年度までは2つまで、平成26年度以降はあてはまるもの全て選択。（単位：人）

区分	延滞者									
	27年度		(参考)26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	632	23.1%	511	13.9%	332	8.2%	366	9.6%	406	9.9%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	488	17.9%	404	11.0%	295	7.3%	370	9.7%	341	8.3%
家計の収入が減った	2,081	76.1%	2,562	69.4%	2,948	72.9%	2,945	77.0%	3,095	75.3%
家計の支出が増えた	1,391	50.9%	1,547	41.9%	1,397	34.5%	1,503	39.3%	1,595	38.8%
入院、事故、災害等にあったため	617	22.6%	850	23.0%	732	18.1%	765	20.0%	729	17.7%
奨学金は返還するものだとは思っていなかった	123	4.5%	91	2.5%	110	2.7%	138	3.6%	85	2.1%
その他	617	22.6%	936	25.4%	1,146	28.3%	264	6.9%	499	12.1%
回答者数	2,733	-	3,689	-	4,046	-	3,823	-	4,111	-
無回答	208	-	75	-	93	-	50	-	-	-

表 5-1-2（男女別/複数回答）（単位：人）

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	338	23.0%	294	23.3%	632	23.1%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	269	18.3%	219	17.4%	488	17.9%
家計の収入が減った	1,082	73.5%	999	79.2%	2,081	76.1%
家計の支出が増えた	735	49.9%	656	52.0%	1,391	50.9%
入院、事故、災害等にあったため	315	21.4%	302	23.9%	617	22.6%
奨学金は返還するものだとは思っていなかった	64	4.3%	59	4.7%	123	4.5%
その他	311	21.1%	306	24.3%	617	22.6%
回答者数	1,472	-	1,261	-	2,733	-

表 5-1-3 最たる理由（男女別/択一）（単位：人）

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	58	4.2%	36	3.1%	94	3.7%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	62	4.5%	43	3.7%	105	4.1%
家計の収入が減った	639	46.5%	593	50.6%	1,232	48.4%
家計の支出が増えた	270	19.6%	192	16.4%	462	18.1%
入院、事故、災害等にあったため	92	6.7%	74	6.3%	166	6.5%
奨学金は返還するものだとは思っていなかった	27	2.0%	23	2.0%	50	2.0%
その他	227	16.5%	210	17.9%	437	17.2%
計	1,375	100.0%	1,171	100.0%	2,546	100.0%

(2)延滞が継続している理由（複数回答）

延滞が継続している理由については、「本人の低所得」と回答した者が 67.2%で最も高い。次いで「奨学金の延滞額の増加」53.8%、「本人の借入金の返済」34.8%となっている。

「本人の低所得」を延滞継続の理由とする者の本人の年収をみると、「年収 300 万円未満」が 86.0%（延滞者全体：77.1%）を占める。また、「年収 200 万円未満」は 60.5%（延滞者全体：54.1%）である。

表 5-2-1 ※平成 25 年度までは 2 つまで選択、平成 26 年度以降はあてはまるもの全て選択。

(単位:人)

区分	延滞者									
	27年度		(参考)26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	1,838	67.2%	1,883	51.6%	2,049	51.1%	1,797	47.5%	1,982	49.3%
本人が失業中(無職)	483	17.7%	606	16.6%	605	15.1%	699	18.5%	769	19.1%
本人が学生(留学を含む)	37	1.4%	28	0.8%	30	0.7%	39	1.0%	45	1.1%
本人が病気療養中	194	7.1%	274	7.5%	212	5.3%	249	6.6%	249	6.2%
本人の借入金の返済	952	34.8%	948	26.0%	796	19.8%	818	21.6%	788	19.6%
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	815	29.8%	944	25.9%	758	18.9%	1,317	34.8%	1,425	35.5%
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	568	20.8%	738	20.2%	710	17.7%				
本人の配偶者の経済困難	250	9.1%	330	9.0%	218	5.4%	218	5.8%	198	4.9%
家族の病気療養	355	13.0%	445	12.2%	230	5.7%	277	7.3%	316	7.9%
忙しい(金融機関に行けない等)	264	9.7%	258	7.1%	139	3.5%	156	4.1%	155	3.9%
奨学金の延滞額の増加	1,472	53.8%	1,707	46.8%	1,201	29.9%	1,218	32.2%	1,149	28.6%
奨学金は返還するものだとは思っていない	42	1.5%	21	0.6%	19	0.5%	12	0.3%	9	0.2%
その他	200	7.3%	311	8.5%	262	6.5%	69	1.8%	153	3.8%
回答者数	2,734	-	3,649	-	4,013	-	3,786	-	4,017	-
無回答	207		115		126		87			

表 5-2-2 (延滞継続理由と本人の年収) (単位:人)

区分	延滞継続理由「本人の低所得」と回答した者の年収		延滞者の年収(再掲)	
	人数	比率	人数	比率
0円	117	6.5%	334	11.7%
1円~100万円未満	385	21.3%	485	17.0%
100万~200万円未満	593	32.7%	726	25.4%
200万~300万円未満	462	25.5%	657	23.0%
300万~400万円未満	183	10.1%	390	13.6%
400万~500万円未満	52	2.9%	163	5.7%
500万~600万円未満	12	0.7%	65	2.3%
600万~700万円未満	5	0.3%	22	0.8%
700万~800万円未満	0	0.0%	8	0.3%
800万~900万円未満	2	0.1%	5	0.2%
900万~1000万円未満	0	0.0%	3	0.1%
1000万円以上	0	0.0%	1	0.0%
計	1,811	100.0%	2,859	100.0%
無回答	27		82	

(3)延滞が始まった理由（きっかけ）と継続している理由との関係

延滞が始まった理由と継続している理由との関連性をみた。

延滞が始まった理由がいずれである場合も、その後延滞が継続している理由は「本人の低所得」、  
「本人の借入金の返済」、「奨学金の延滞額の増加」が高い。

表 5-3

(単位:人)

継続の理由	始まった理由		忙しかった		返還を忘れていた		収入が減った		支出が増えた	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	411	66.6%	314	65.8%	1,507	73.7%	980	71.4%		
本人が失業中(無職)	103	16.7%	84	17.6%	395	19.3%	214	15.6%		
本人が学生(留学を含む)	15	2.4%	12	2.5%	27	1.3%	19	1.4%		
本人が病気療養中	41	6.6%	31	6.5%	157	7.7%	91	6.6%		
本人の借入金の返済	261	42.3%	207	43.4%	737	36.0%	633	46.1%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	173	28.0%	130	27.3%	648	31.7%	493	35.9%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	99	16.0%	67	14.0%	446	21.8%	281	20.5%		
本人の配偶者の経済困難	56	9.1%	41	8.6%	209	10.2%	166	12.1%		
家族の病気療養	66	10.7%	46	9.6%	296	14.5%	223	16.3%		
忙しい(金融機関に行けない等)	212	34.4%	122	25.6%	160	7.8%	153	11.2%		
奨学金の延滞額の増加	373	60.5%	305	63.9%	1,155	56.5%	850	62.0%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	19	3.1%	17	3.6%	27	1.3%	21	1.5%		
その他	42	6.8%	34	7.1%	123	6.0%	81	5.9%		
回答者数	617	-	477	-	2,046	-	1,372	-		

継続の理由	始まった理由		入院、事故、災害等		返還するものだとは思っていない		その他		回答者数	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	413	67.8%	86	71.1%	363	61.5%	1,838	67.3%		
本人が失業中(無職)	134	22.0%	30	24.8%	109	18.5%	483	17.7%		
本人が学生(留学を含む)	10	1.6%	8	6.6%	11	1.9%	37	1.4%		
本人が病気療養中	124	20.4%	13	10.7%	45	7.6%	194	7.1%		
本人の借入金の返済	232	38.1%	57	47.1%	205	34.7%	952	34.8%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	228	37.4%	45	37.2%	180	30.5%	815	29.8%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	163	26.8%	31	25.6%	130	22.0%	568	20.8%		
本人の配偶者の経済困難	64	10.5%	19	15.7%	56	9.5%	250	9.1%		
家族の病気療養	181	29.7%	21	17.4%	82	13.9%	355	13.0%		
忙しい(金融機関に行けない等)	59	9.7%	25	20.7%	51	8.6%	264	9.7%		
奨学金の延滞額の増加	367	60.3%	87	71.9%	349	59.2%	1,472	53.9%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	12	2.0%	30	24.8%	7	1.2%	42	1.5%		
その他	40	6.6%	13	10.7%	123	20.8%	200	7.3%		
回答者数	609	-	121	-	590	-	2,733	-		

(4)延滞が継続している理由と主な返還者との関係

延滞が継続している理由と主な返還者との関連性をみた。

主な返還者が「奨学生本人」の場合、延滞が継続している理由は「本人の低所得」が71.8%で最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」が56.0%となっている。

主な返還者が「本人の父母」の場合は、「本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)」が57.4%で最も高く、次いで「本人の低所得」56.5%、「奨学金の延滞額の増加」47.2%となっている。

主な返還者が「本人の配偶者」である場合は、「奨学金の延滞額の増加」が57.1%で最も高く、次いで「本人が失業中(無職)」が51.0%、「本人の低所得」44.9%、「本人の配偶者の経済困難」34.7%となっている。

表 5-4 (複数回答)

(単位:人)

継続の理由	主な返還者		奨学生本人		本人の父母		本人の兄弟姉妹		本人の祖父母	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	1,413	71.8%	371	56.5%	0	0.0%	4	57.1%		
本人が失業中(無職)	286	14.5%	153	23.3%	1	50.0%	4	57.1%		
本人が学生(留学を含む)	29	1.5%	7	1.1%	0	0.0%	1	14.3%		
本人が病気療養中	126	6.4%	52	7.9%	1	50.0%	3	42.9%		
本人の借入金の返済	798	40.5%	128	19.5%	0	0.0%	2	28.6%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	611	31.0%	179	27.2%	0	0.0%	4	57.1%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	169	8.6%	377	57.4%	1	50.0%	3	42.9%		
本人の配偶者の経済困難	186	9.5%	42	6.4%	0	0.0%	0	0.0%		
家族の病気療養	239	12.1%	108	16.4%	1	50.0%	2	28.6%		
忙しい(金融機関に行けない等)	238	12.1%	18	2.7%	0	0.0%	1	14.3%		
奨学金の延滞額の増加	1,102	56.0%	310	47.2%	2	100.0%	2	28.6%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	20	1.0%	18	2.7%	0	0.0%	1	14.3%		
その他	135	6.9%	52	7.9%	0	0.0%	1	14.3%		
回答者数	1,968	-	657	-	2	-	7	-		

継続の理由	主な返還者		本人のおじ・おば		本人の配偶者		その他		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	0	0.0%	22	44.9%	19	67.9%	1,838	67.8%		
本人が失業中(無職)	0	0.0%	25	51.0%	7	25.0%	483	17.8%		
本人が学生(留学を含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	37	1.4%		
本人が病気療養中	0	0.0%	2	4.1%	4	14.3%	194	7.2%		
本人の借入金の返済	0	0.0%	11	22.4%	7	25.0%	952	35.1%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	0	0.0%	10	20.4%	7	25.0%	815	30.1%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	0	0.0%	6	12.2%	7	25.0%	568	21.0%		
本人の配偶者の経済困難	0	0.0%	17	34.7%	1	3.6%	250	9.2%		
家族の病気療養	0	0.0%	3	6.1%	0	0.0%	355	13.1%		
忙しい(金融機関に行けない等)	0	0.0%	2	4.1%	1	3.6%	264	9.7%		
奨学金の延滞額の増加	0	0.0%	28	57.1%	16	57.1%	1,472	54.3%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	42	1.5%		
その他	0	0.0%	4	8.2%	7	25.0%	200	7.4%		
回答者数	0	-	49	-	28	-	2,711	-		

(5)延滞が継続している理由と年収との関係

延滞が継続している理由と本人の年収との関連性をみた。

「年収 0 円」では、延滞が継続している理由は「本人が失業中（無職）」が 73.9%で最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」が 48.1%となっている。「年収 1～300 万円未満」では、「本人の低所得」が最も高いが、「年収 300 万円以上」では、「奨学金の延滞額の増加」、「本人の借入金の返済」、「本人親の経済困難」の比率が高くなっている。

表 5-5

(単位:人)

継続の理由	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	117	37.7%	385	84.6%	593	87.0%	462	74.8%
本人が失業中(無職)	229	73.9%	118	25.9%	63	9.2%	41	6.6%
本人が学生(留学を含む)	8	2.6%	10	2.2%	7	1.0%	4	0.6%
本人が病気療養中	59	19.0%	48	10.5%	45	6.6%	26	4.2%
本人の借入金の返済	43	13.9%	129	28.4%	210	30.8%	260	42.1%
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	41	13.2%	121	26.6%	225	33.0%	209	33.8%
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	93	30.0%	108	23.7%	134	19.6%	113	18.3%
本人の配偶者の経済困難	43	13.9%	60	13.2%	40	5.9%	51	8.3%
家族の病気療養	41	13.2%	61	13.4%	91	13.3%	77	12.5%
忙しい(金融機関に行けない等)	11	3.5%	24	5.3%	66	9.7%	78	12.6%
奨学金の延滞額の増加	149	48.1%	233	51.2%	358	52.5%	370	59.9%
奨学金は返還するものだとは思っていない	10	3.2%	9	2.0%	13	1.9%	7	1.1%
その他	24	7.7%	27	5.9%	38	5.6%	45	7.3%
回答者数	310	-	455	-	682	-	618	-

継続の理由	300万～400万円未満		400万～500万円未満		500万～600万円未満		600万～700万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	183	51.7%	52	34.2%	12	19.4%	5	22.7%
本人が失業中(無職)	15	4.2%	0	0.0%	1	1.6%	1	4.5%
本人が学生(留学を含む)	5	1.4%	1	0.7%	1	1.6%	0	0.0%
本人が病気療養中	8	2.3%	3	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の借入金の返済	177	50.0%	72	47.4%	27	43.5%	13	59.1%
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	106	29.9%	56	36.8%	28	45.2%	10	45.5%
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	53	15.0%	27	17.8%	8	12.9%	5	22.7%
本人の配偶者の経済困難	30	8.5%	14	9.2%	8	12.9%	1	4.5%
家族の病気療養	46	13.0%	18	11.8%	5	8.1%	2	9.1%
忙しい(金融機関に行けない等)	49	13.8%	17	11.2%	7	11.3%	6	27.3%
奨学金の延滞額の増加	209	59.0%	80	52.6%	34	54.8%	8	36.4%
奨学金は返還するものだとは思っていない	2	0.6%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
その他	27	7.6%	16	10.5%	7	11.3%	2	9.1%
回答者数	354	-	152	-	62	-	22	-

継続の理由	700万～800万円未満		800万～900万円未満		900万～1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	1,838	68.8%
本人が失業中(無職)	0	0.0%	1	20.0%	1	50.0%	0	0.0%	483	18.1%
本人が学生(留学を含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	37	1.4%
本人が病気療養中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	194	7.3%
本人の借入金の返済	3	37.5%	3	60.0%	1	50.0%	1	100.0%	952	35.6%
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	4	50.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	815	30.5%
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	1	12.5%	1	20.0%	0	0.0%	1	100.0%	568	21.3%
本人の配偶者の経済困難	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	250	9.4%
家族の病気療養	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	355	13.3%
忙しい(金融機関に行けない等)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	264	9.9%
奨学金の延滞額の増加	4	50.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	1,472	55.1%
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	42	1.6%
その他	3	37.5%	2	40.0%	1	50.0%	0	0.0%	200	7.5%
回答者数	8	-	5	-	2	-	1	-	2,671	-



(6)延滞が継続している理由と職業との関係

延滞が継続している理由と職業との関連性をみた。

全般的に上位にあげられている理由は「奨学金の延滞額の増加」「本人の借入金の返済」の2項目である。それ以外については、所得の有無や就業形態によって差がみられる。

【所得がある層（＝無職・学生・専業主婦（夫）以外）】

「常勤社（職）員」において、延滞継続の理由に「本人の低所得」をあげた者は半数程度であるのに対し、「雇用期限のある社（職）員」、「非常勤社（職）員」、「派遣職員」、「自営業／家業」では7～9割に及んでいる。またこの「所得がある層」の3割前後が、「本人親の経済困難（本人が親への経済援助をしており、支出が多い）」を延滞継続理由としてあげている。

【所得がない層（＝無職・学生・専業主婦（夫））】

「専業主婦（夫）」では、「本人親の経済困難（親が返還）」が33.9%、「本人の配偶者の経済困難」が23.6%と他の層に比べて高くなっている。

表 5-6

(単位:人)

継続の理由	職業		常勤社(職)員		常勤社(職)員(雇用期限がある)		非常勤社(職)員		派遣社員		自営業/家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	618	56.5%	148	78.3%	519	91.5%	161	87.5%	122	83.6%		
本人が失業中(無職)	34	3.1%	12	6.3%	46	8.1%	11	6.0%	5	3.4%		
本人が学生(留学を含む)	10	0.9%	0	0.0%	11	1.9%	0	0.0%	1	0.7%		
本人が病気療養中	28	2.6%	7	3.7%	48	8.5%	12	6.5%	6	4.1%		
本人の借入金の返済	477	43.6%	65	34.4%	176	31.0%	75	40.8%	49	33.6%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	372	34.0%	73	38.6%	170	30.0%	65	35.3%	40	27.4%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	200	18.3%	35	18.5%	113	19.9%	37	20.1%	27	18.5%		
本人の配偶者の経済困難	92	8.4%	17	9.0%	54	9.5%	9	4.9%	9	6.2%		
家族の病気療養	131	12.0%	24	12.7%	79	13.9%	31	16.8%	24	16.4%		
忙しい(金融機関に行けない等)	155	14.2%	25	13.2%	34	6.0%	16	8.7%	11	7.5%		
奨学金の延滞額の増加	604	55.3%	115	60.8%	307	54.1%	98	53.3%	77	52.7%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	12	1.1%	2	1.1%	12	2.1%	3	1.6%	3	2.1%		
その他	96	8.8%	11	5.8%	30	5.3%	10	5.4%	7	4.8%		
回答者数	1,093	-	189	-	567	-	184	-	146	-		

継続の理由	職業		学生 (留学を含む)		専業主婦(夫)		無職・失業中 /休職中		その他		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	4	40.0%	71	40.8%	161	52.1%	27	58.7%	1,838	67.6%		
本人が失業中(無職)	1	10.0%	114	65.5%	251	81.2%	7	15.2%	483	17.8%		
本人が学生(留学を含む)	10	100.0%	0	0.0%	2	0.6%	2	4.3%	37	1.4%		
本人が病気療養中	0	0.0%	10	5.7%	76	24.6%	6	13.0%	194	7.1%		
本人の借入金の返済	1	10.0%	24	13.8%	65	21.0%	16	34.8%	952	35.0%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	0	0.0%	35	20.1%	47	15.2%	9	19.6%	815	30.0%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	0	0.0%	59	33.9%	75	24.3%	16	34.8%	568	20.9%		
本人の配偶者の経済困難	0	0.0%	41	23.6%	23	7.4%	2	4.3%	250	9.2%		
家族の病気療養	0	0.0%	13	7.5%	46	14.9%	6	13.0%	355	13.1%		
忙しい(金融機関に行けない等)	1	10.0%	8	4.6%	12	3.9%	2	4.3%	264	9.7%		
奨学金の延滞額の増加	5	50.0%	87	50.0%	150	48.5%	24	52.2%	1,472	54.2%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	5	2.9%	5	1.6%	0	0.0%	42	1.5%		
その他	0	0.0%	18	10.3%	14	4.5%	12	26.1%	200	7.4%		
回答者数	10	-	174	-	309	-	46	-	2,718	-		

(7)今後の返還の見通し（択一）

延滞者に対し、今後の返還の見通しについて質問した。

現在における返還の見通しについて、「決められた月額等を返還できると思う」と回答した者は32.2%であるのに対し、「決められた月額等より少ない金額で返還できる（決められた月額の半額程度より多く+決められた月額の半額程度+決められた月額の半額程度より少なく）」と回答した者の合計は49.0%とほぼ半数となっている。なお、経年変化をみると「返還できないと思う」の比率は徐々に減少傾向にある。

現在の返還の見通しと年収の関係を見ると、「決められた月額等を返還できると思う」は、年収200万円以上で3割を越え、300万円以上で4割、半数を超えるのは年収500万円以上となっている。

表 5-7-1

(単位:人)

区分	延滞者									
	27年度		(参考)26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
決められた月額等を返還できると思う	921	32.2%	1,085	29.8%	1,292	32.6%	1,163	31.2%	1,228	30.3%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	265	9.3%	362	10.0%	330	8.3%	306	8.2%		
決められた月額等の半額程度返還できると思う	506	17.7%	601	16.5%	698	17.6%	693	18.6%	2,035	50.2%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	629	22.0%	902	24.8%	976	24.6%	896	24.0%		
返還できないと思う	113	4.0%	259	7.1%	291	7.3%	290	7.8%	412	10.2%
わからない	425	14.9%	427	11.7%	382	9.6%	383	10.3%	379	9.3%
計	2,859	100.0%	3,636	100.0%	3,969	100.0%	3,731	100.0%	4,054	100.0%
無回答	82		128		170		142			

表 5-7-2 (本人の年収との関係)

(単位:人)

返還の見通し	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
決められた月額等を返還できると思う	95	29.2%	113	24.0%	192	27.0%	207	32.3%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	22	6.8%	32	6.8%	61	8.6%	73	11.4%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	36	11.1%	71	15.1%	149	21.0%	126	19.7%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	75	23.1%	148	31.4%	166	23.3%	134	20.9%
返還できないと思う	12	3.7%	24	5.1%	38	5.3%	23	3.6%
わからない	85	26.2%	83	17.6%	105	14.8%	78	12.2%
計	325	100.0%	471	100.0%	711	100.0%	641	100.0%

返還の見通し	300万～400万円未満		400万～500万円未満		500万～600万円未満		600万～700万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
決められた月額等を返還できると思う	155	40.7%	75	46.6%	35	54.7%	15	68.2%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	43	11.3%	21	13.0%	8	12.5%	2	9.1%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	71	18.6%	31	19.3%	5	7.8%	2	9.1%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	60	15.7%	21	13.0%	7	10.9%	1	4.5%
返還できないと思う	8	2.1%	2	1.2%	2	3.1%	1	4.5%
わからない	44	11.5%	11	6.8%	7	10.9%	1	4.5%
計	381	100.0%	161	100.0%	64	100.0%	22	100.0%

返還の見通し	700万～800万円未満		800万～900万円未満		900万～1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
決められた月額等を返還できると思う	8	100.0%	2	40.0%	1	33.3%	0	0.0%	898	32.2%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	262	9.4%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	0	0.0%	1	20.0%	2	66.7%	0	0.0%	494	17.7%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	1	100.0%	615	22.0%
返還できないと思う	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	110	3.9%
わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	414	14.8%
計	8	100.0%	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	2,793	100.0%

## 6 返還期限の猶予制度について

返還期限の猶予制度に関しては、案内資料を請求書に同封するほか、振替不能通知などの延滞督促に記載している。また、学校における奨学金に関する各種説明会での説明事項に含めている。

### (1) 猶予制度の認知状況（択一）

昨年の調査から、「知っている」を「奨学金に申し込む前から知っていた」、「返還が始まる前までには知っていた」、「返還が始まってから知った」、「延滞督促を受けてから知った」の4種類に分割し、「知らない」と併せて5肢の選択回答とした。

返還が始まる前までに認知していた者は、無延滞者では合計で32.8%であるのに対し、延滞者では合計で4.4%と、延滞者と無延滞者では認知時期に大きな差がみられる。この傾向は、回答者が奨学生本人である場合に絞っても同様である。

延滞者では「延滞督促を受けてから知った」と回答した者が46.7%で最も高く、貸与の早い段階での制度認知と延滞状況が密接に関係していると認められる。

年齢別・年収別にみても、この傾向は変わらない。（表6-2-1～表6-3-2）

表 6-1-1

（単位：人）

区分	27年度					
	延滞者			無延滞者		
	人数	比率	67.4%	人数	比率	59.5%
奨学金に申し込む前から知っていた	50	1.7%		373	12.0%	
返還が始まる前までには知っていた	79	2.7%	648	20.8%		
返還が始まってから知った	476	16.3%	762	24.5%		
延滞督促を受けてから知った	1,364	46.7%	67	2.2%		
知らない	951	32.6%	32.6%	1,259	40.5%	40.5%
計	2,920	100.0%	100.0%	3,109	100.0%	100.0%
無回答	21			9		

### （参考）延滞者

（単位：人）

区分	参考								
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	77	2.1%	64.3%	1,873	46.4%	1,632	42.9%	1,772	43.3%
返還が始まる前までには知っていた	101	2.7%							
返還が始まってから知った	568	15.4%							
延滞督促を受けてから知った	1,625	44.1%							
知らない	1,314	35.7%	35.7%	2,161	53.6%	2,169	57.1%	2,316	56.7%
計	3,685	100.0%	100.0%	4,034	100.0%	3,801	100.0%	4,088	100.0%
無回答	79			105		72			

### （参考）無延滞者

（単位：人）

区分	参考								
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	279	13.0%	59.0%	1,159	46.2%	1,164	47.0%	490	43.9%
返還が始まる前までには知っていた	453	21.1%							
返還が始まってから知った	484	22.5%							
延滞督促を受けてから知った	51	2.4%							
知らない	880	41.0%	41.0%	1,349	53.8%	1,310	53.0%	626	56.1%
計	2,147	100.0%	100.0%	2,508	100.0%	2,474	100.0%	1,116	100.0%
無回答	23			14		3			

表 6-1-2 (回答者:「奨学生本人」のみ)

(単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	33	1.5%	261	10.5%
返還が始まる前までには知っていた	68	3.1%	545	21.9%
返還が始まってから知った	356	16.5%	607	24.4%
延滞督促を受けてから知った	1,028	47.6%	57	2.3%
知らない	674	31.2%	1,014	40.8%
計	2,159	100.0%	2,484	100.0%
無回答	9		2	

## (2)猶予制度の認知状況と年齢との関係

表 6-2-1 (延滞者)

(単位:人)

年齢	認知状況	奨学金に申し込む前から知っていた		返還が始まる前までには知っていた		返還が始まってから知った		延滞督促を受けてから知った		知らない		計	
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
~24		2	1.5%	11	8.4%	23	17.6%	66	50.4%	29	22.1%	131	100.0%
25~29		15	2.8%	19	3.5%	92	16.9%	250	46.0%	167	30.8%	543	100.0%
30~34		14	1.1%	26	2.1%	210	17.0%	571	46.3%	412	33.4%	1,233	100.0%
35~39		12	1.8%	15	2.3%	104	15.8%	317	48.1%	211	32.0%	659	100.0%
40~44		6	2.6%	5	2.2%	31	13.6%	105	46.1%	81	35.5%	228	100.0%
45~49		1	1.3%	2	2.5%	5	6.3%	38	47.5%	34	42.5%	80	100.0%
50~		0	0.0%	1	2.2%	11	23.9%	17	37.0%	17	37.0%	46	100.0%
	計	50	1.7%	79	2.7%	476	16.3%	1,364	46.7%	951	32.6%	2,920	100.0%

表 6-2-2 (無延滞者)

(単位:人)

年齢	認知状況	奨学金に申し込む前から知っていた		返還が始まる前までには知っていた		返還が始まってから知った		延滞督促を受けてから知った		知らない		計	
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
~24		90	13.5%	182	27.2%	136	20.4%	11	1.6%	249	37.3%	668	100.0%
25~29		147	12.0%	277	22.7%	303	24.8%	29	2.4%	465	38.1%	1,221	100.0%
30~34		81	9.9%	130	15.8%	210	25.5%	20	2.4%	381	46.4%	822	100.0%
35~39		38	12.8%	42	14.1%	89	29.9%	5	1.7%	124	41.6%	298	100.0%
40~44		9	14.3%	12	19.0%	23	36.5%	2	3.2%	17	27.0%	63	100.0%
45~49		7	30.4%	4	17.4%	1	4.3%	0	0.0%	11	47.8%	23	100.0%
50~		1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	12	85.7%	14	100.0%
	計	373	12.0%	648	20.8%	762	24.5%	67	2.2%	1,259	40.5%	3,109	100.0%

(3) 猶予制度の認知状況と年収との関係

表 6-3-1 (延滞者)

(単位:人)

年収	認知状況		返還が始まる前までには知っていた		返還が始まってから知った		延滞督促を受けてから知った		知らない		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	2	0.6%	9	2.7%	50	15.1%	154	46.4%	117	35.2%	332	100.0%
1円～100万円未満	10	2.1%	15	3.1%	60	12.5%	242	50.4%	153	31.9%	480	100.0%
100万～200万円未満	12	1.7%	12	1.7%	111	15.4%	361	49.9%	227	31.4%	723	100.0%
200万～300万円未満	7	1.1%	23	3.5%	103	15.7%	310	47.3%	212	32.4%	655	100.0%
300万～400万円未満	7	1.8%	12	3.1%	82	21.1%	166	42.8%	121	31.2%	388	100.0%
400万～500万円未満	2	1.2%	5	3.1%	33	20.5%	70	43.5%	51	31.7%	161	100.0%
500万～600万円未満	3	4.6%	1	1.5%	18	27.7%	23	35.4%	20	30.8%	65	100.0%
600万～700万円未満	1	4.5%	0	0.0%	5	22.7%	5	22.7%	11	50.0%	22	100.0%
700万～800万円未満	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	4	50.0%	8	100.0%
800万～900万円未満	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	3	100.0%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
計	46	1.6%	79	2.8%	464	16.3%	1,334	46.9%	920	32.4%	2,843	100.0%

表 6-3-2 (無延滞者)

(単位:人)

年収	認知状況		返還が始まる前までには知っていた		返還が始まってから知った		延滞督促を受けてから知った		知らない		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	22	12.2%	33	18.2%	43	23.8%	10	5.5%	73	40.3%	181	100.0%
1円～100万円未満	18	7.5%	46	19.2%	77	32.1%	9	3.8%	90	37.5%	240	100.0%
100万～200万円未満	64	13.3%	106	21.9%	111	23.0%	16	3.3%	186	38.5%	483	100.0%
200万～300万円未満	91	11.3%	188	23.3%	199	24.6%	22	2.7%	308	38.1%	808	100.0%
300万～400万円未満	74	13.0%	109	19.2%	143	25.2%	7	1.2%	235	41.4%	568	100.0%
400万～500万円未満	33	9.3%	85	24.0%	83	23.4%	1	0.3%	152	42.9%	354	100.0%
500万～600万円未満	25	12.6%	34	17.2%	41	20.7%	0	0.0%	98	49.5%	198	100.0%
600万～700万円未満	12	12.6%	17	17.9%	25	26.3%	1	1.1%	40	42.1%	95	100.0%
700万～800万円未満	12	20.3%	9	15.3%	12	20.3%	0	0.0%	26	44.1%	59	100.0%
800万～900万円未満	1	3.8%	8	30.8%	8	30.8%	1	3.8%	8	30.8%	26	100.0%
900万～1000万円未満	4	21.1%	4	21.1%	5	26.3%	0	0.0%	6	31.6%	19	100.0%
1000万円以上	9	26.5%	2	5.9%	7	20.6%	0	0.0%	16	47.1%	34	100.0%
計	365	11.9%	641	20.9%	754	24.6%	67	2.2%	1,238	40.4%	3,065	100.0%

(4) 猶予制度の申請状況 (択一)

延滞者のうち「(1) 猶予制度の認知状況」で「知らない」以外を選択した者に、猶予の申請状況を質問した。

猶予制度を「一度も利用したことがない」が 38.1% で最も高く、かつ増加している。また「申請の準備または検討をしている」、「現在、利用中である」も比率は高くないものの、直近 3 年間については漸増している。逆に、「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」は平成 25 年度以降、減少している。

表 6-4(延滞者のみ)

(単位:人)

区分	27年度		(参考)26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
現在、利用中である	321	16.6%	202	15.0%	198	11.6%	192	12.7%	240	13.9%
申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む)	286	14.8%	155	11.5%	146	8.6%	176	11.6%	186	10.8%
過去に利用したことがあるが、今は利用していない	528	27.4%	472	35.1%	835	48.9%	706	46.6%	739	42.8%
一度も利用したことがない	735	38.1%	405	30.1%	437	25.6%	396	26.1%	445	25.8%
その他	58	3.0%	111	8.3%	91	5.3%	46	3.0%	115	6.7%
計	1,928	100.0%	1,345	100.0%	1,707	100.0%	1,516	100.0%	1,725	100.0%
無回答	41		1,026		166		116			

(5) 猶予申請しない理由（過去に利用あり）（択一）

延滞者のうち(4)で「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」と回答した者に、猶予を申請しない理由を質問した。

猶予を申請しない理由として「すでに猶予期間(通算120ヶ月)を利用してしまったため」が26.1%、「返還期限猶予制度の基準に該当しないため」が23.1%で高い。

「手続きに手間がかかるため」、「手続きがよくわからない、よく知らなかったため」といった、手続き上の理由も合計20.8%みられた。

表 6-5（延滞者のみ）

（単位：人）

区分	27年度	
	人数	比率
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	117	23.1%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	38	7.5%
すでに猶予期間(通算120ヶ月)を利用してしまったため	132	26.1%
猶予申請しないで返還する予定のため	68	13.4%
猶予申請手続きに手間がかかるため	54	10.7%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	51	10.1%
その他	46	9.1%
計	506	100.0%
無回答	22	

(6) 猶予申請しない理由（一度も利用なし）（択一）

延滞者のうち(4)で「一度も利用したことがない」と回答した者に、猶予を申請しない理由を質問した。「手続きがよくわからない、よく知らなかったため」が43.8%と半数近くを占め、次いで「返還期限猶予制度の基準に該当しないため」が24.4%で高い。

表 6-6（延滞者のみ）

（単位：人）

区分	27年度	
	人数	比率
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	163	24.4%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	42	6.3%
すでに猶予期間(通算120ヶ月)を利用してしまったため	0	0.0%
猶予申請しないで返還する予定のため	92	13.8%
猶予申請手続きに手間がかかるため	35	5.2%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	293	43.8%
その他	44	6.6%
計	669	100.0%
無回答	66	

(7) 猶予制度をどこから知ったか（複数回答）

延滞者は「機構（旧日本育英会）からの通知で」、「相談センターに電話して」、「債権回収会社から」 猶予制度を知ったと回答した者が無延滞者よりも多い。一方、無延滞者は「奨学金申請時・採用時の資料で」、「返還のてびきを読んで」、「学校の説明会で」等と回答した者が延滞者よりも多い。これらのことから、延滞者は無延滞者と比べて、遅めのタイミングで、かつ受動的に猶予制度を認知した比率が高いといえる。

表 6-7

（単位：人）

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料で	184	10.3%	761	42.3%
「返還のてびき」を読んで	395	22.0%	1,098	61.0%
日本学生支援機構のホームページで	254	14.2%	314	17.5%
機構(旧日本育英会)からの通知で	748	41.7%	239	13.3%
相談センターに電話して	634	35.3%	45	2.5%
学校の説明会で	43	2.4%	314	17.5%
連帯保証人・保証人から	92	5.1%	47	2.6%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	72	4.0%	88	4.9%
債権回収会社から	331	18.4%	16	0.9%
その他	43	2.4%	46	2.6%
回答者数	1,795	-	1,799	-
無回答	174		51	

（参考）延滞者

（単位：人）

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料で	176	10.9%	312	18.2%	288	19.2%	-	-
「返還のてびき」を読んで	419	25.9%	554	32.2%	475	31.6%	615	38.9%
日本学生支援機構のホームページで	197	12.2%	238	13.9%	219	14.6%	257	16.2%
機構(旧日本育英会)からの通知で	742	45.8%	761	44.3%	639	42.5%	721	45.5%
相談センターに電話して	554	34.2%	647	37.7%	579	38.5%	696	44.0%
学校の説明会で	24	1.5%	49	2.9%	44	2.9%	77	4.9%
連帯保証人・保証人から	54	3.3%	101	5.9%	84	5.6%	117	7.4%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	60	3.7%	87	5.1%	62	4.1%	81	5.1%
債権回収会社から	254	15.7%	243	14.1%	197	13.1%	-	-
その他	36	2.2%	32	1.9%	24	1.6%	18	1.1%
回答者数	1,619	-	1,718	-	1,503	-	1,583	-
無回答	752							

（参考）無延滞者

（単位：人）

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料で	458	47.6%	590	52.4%	564	50.9%	-	-
「返還のてびき」を読んで	612	63.6%	744	66.1%	760	68.7%	367	74.9%
日本学生支援機構のホームページで	147	15.3%	179	15.9%	213	19.2%	17	3.5%
機構(旧日本育英会)からの通知で	121	12.6%	169	15.0%	196	17.7%	32	6.5%
相談センターに電話して	18	1.9%	28	2.5%	43	3.9%	9	1.8%
学校の説明会で	160	16.6%	185	16.4%	181	16.4%	29	5.9%
連帯保証人・保証人から	15	1.6%	28	2.5%	37	3.3%	9	1.8%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	43	4.5%	61	5.4%	59	5.3%	10	2.0%
債権回収会社から	6	0.6%	6	0.5%	6	0.5%	-	-
その他	22	2.3%	30	2.7%	24	2.2%	3	0.6%
回答者数	963	-	1,125	-	1,107	-	490	-
無回答	304							

(8)猶予制度の猶予期間の長さ（通算 120 か月）（択一）

延滞者のうち(1)で「知らない」以外を選択した者に、猶予期間の長さについて質問した。

平成 27 年度は平成 26 年度と比べて、「短い」または「どちらかといえば短い」と回答した者の合計が 5.5%低く、「十分」または「どちらかといえば十分」の合計が 5.6%高くなっている。これは、平成 26 年度より、猶予期間の長さが通算 60 か月から 120 か月に延長されたことが浸透してきているためと考えられる。

表 6-8（延滞者のみ）

（単位：人）

区分	27年度		（参考）26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
短い	321	17.0%	366	21.8%	510	28.5%	412	26.2%	429	25.2%
どちらかといえば短い	190	10.1%	181	10.8%	242	13.5%	208	13.2%	241	14.2%
どちらともいえない	953	50.6%	853	50.8%	832	46.5%	711	45.2%	750	44.0%
どちらかといえば十分	258	13.7%	169	10.1%	121	6.8%	138	8.8%	170	10.0%
十分	161	8.6%	111	6.6%	85	4.7%	104	6.6%	113	6.6%
計	1,883	100.0%	1,680	100.0%	1,790	100.0%	1,573	100.0%	1,703	100.0%
無回答	86		691		83		59			



7 無延滞者のこれまでの返還状況（無延滞者のみ回答）

(1)延滞経験の有無（択一）

無延滞者に対し、過去に延滞の経験があるかどうか質問した。

「延滞したことがある」者は20.2%いる。

表 7-1

(単位:人)

区分	27年度		(参考)26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
延滞したことがない	2,279	73.4%	1,568	72.5%	1,901	76.1%	1,819	74.3%	836	76.5%
延滞したことがある	627	20.2%	458	21.2%	469	18.8%	491	20.0%	200	18.3%
わからない	201	6.5%	137	6.3%	129	5.2%	139	5.7%	57	5.2%
計	3,107	100.0%	2,163	100.0%	2,499	100.0%	2,449	100.0%	1,093	100.0%
無回答	11		7		23		28			

(2)延滞になったことを知ったきっかけ（あてはまるものを全て選択）

(1)で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞になったことを知ったきっかけを質問した。

「機構（旧日本育英会）からの振替不能（延滞）通知」が72.3%で最も高く、次いで「口座残高を確認して」が31.5%、「機構（旧日本育英会）からの電話」が29.4%となっている。

表 7-2

(単位:人)

区分	27年度		(参考)26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知	443	72.3%	340	78.7%	359	79.2%	361	76.8%	144	72.0%
機構(旧日本育英会)からの電話	180	29.4%	148	34.3%	136	30.0%	172	36.6%	50	25.0%
連帯保証人・保証人からの連絡	46	7.5%	53	12.3%	39	8.6%	29	6.2%	14	7.0%
口座残高を確認して	193	31.5%	115	26.6%	144	31.8%	140	29.8%	43	21.5%
親・家族等からの連絡	71	11.6%	51	11.8%	51	11.3%	44	9.4%	16	8.0%
債権回収会社からの連絡	49	8.0%	35	8.1%	53	11.7%	42	8.9%	20	10.0%
その他	17	2.8%	11	2.5%	8	1.8%	5	1.1%	4	2.0%
回答者数	613	-	432	-	453	-	470	-	200	-
無回答	14		26							

(3)延滞の解消方法（あてはまるものを全て選択）

(1)で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞を解消した方法を質問した。

「本人が延滞額を支払った（口座振替を含む）」と回答した者が82.1%で最も高い。

表 7-3（複数回答）

(単位:人)

区分	27年度		(参考)26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人が延滞額を支払った(口座振替を含む)	500	82.1%	359	82.7%	386	85.2%	372	78.6%	145	77.5%
本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)	95	15.6%	74	17.1%	64	14.1%	87	18.4%	35	18.7%
猶予願が承認された	53	8.7%	34	7.8%	29	6.4%	39	8.2%	26	13.9%
その他	14	2.3%	8	1.8%	6	1.3%	6	1.3%	3	1.6%
回答者数	609	-	434	-	453	-	473	-	187	-
無回答	18		24							

(4)延滞をより早く解消できたと思われる返還方法（あてはまるものを全て選択）

(1)で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞をより早く解消できたと思われる返還方法を質問した。

「払込票（コンビニ支払い）」と回答した者が 57.9%で最も高く、次いで「振替用口座（リレー口座）からの引き落とし（延滞額の一部でも）」の 48.7%となっている。

なお、「インターネットバンキング（振込）」については平成 23 年度から 26 年度までは増加傾向であったが、平成 27 年度は 26 年度よりも 5.3%減少している。

表 7-4 ※平成 25 年度までは、2 つまで選択。平成 26 年度以降は当てはまるものを全て選択。（単位：人）

区分	27年度		（参考）26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
振替用口座（リレー口座）からの引落とし（延滞額の一部でも）	275	48.7%	184	47.9%	180	46.8%	191	48.8%	53	31.5%
機構の口座への振込み	117	20.7%	77	20.1%	96	24.9%	74	18.9%	40	23.8%
払込票（コンビニ支払い）	327	57.9%	246	64.1%	244	63.4%	188	48.1%	107	63.7%
インターネットバンキング（振込）	57	10.1%	59	15.4%	57	14.8%	52	13.3%	19	11.3%
債権回収会社	3	0.5%	7	1.8%	2	0.5%	2	0.5%	2	1.2%
その他	14	2.5%	10	2.6%	10	2.6%	5	1.3%	4	2.4%
回答者数	565	-	384	-	385	-	391	-	168	-
無回答	62		74							

(5)奨学金がどのように役に立ったか（あてはまるものを全て選択）

無延滞者に対し、奨学金がどのように役に立ったかを質問した。

「家計の負担を軽減できた」が 71.1%で最も高く、次いで「奨学金のおかげで進学可能となった」が 58.1%となっている。また、2 つ以上の効果を感じている人は 56.5%となっている。

表 7-5（複数回答）（単位：人）

区分	27年度	
	人数	比率
奨学金のおかげで進学可能となった	1,797	58.1%
修学費に充てる金額を多くできた	974	31.5%
家計の負担を軽減できた	2,199	71.1%
アルバイトの時間を減らすことができた	703	22.7%
その他	55	1.8%
回答者数	3,093	-
無回答	25	

表 7-6（単位：人）

区分	27年度	
	人数	比率
いずれか1つの効果を感じている人	1,309	42.0%
2つ以上の効果を感じている人	1,761	56.5%
いずれの効果も感じていない人	48	1.5%
計	3,118	100.0%

8 日本学生支援機構の奨学金制度の認知状況

(1)減額返還制度の認知状況（択一）

減額返還制度について、「知っている（「よく知っている」＋「だいたい知っている）」と回答した者は、延滞者 20.7%に対し、無延滞者 37.1%で、無延滞者の方が 16.4%高い。

表 8-1 (単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
よく知っている	104	3.6%	131	4.3%
だいたい知っている	493	17.1%	1,005	32.8%
あまり知らない	875	30.3%	765	25.0%
知らない	1,416	49.0%	1,160	37.9%
計	2,888	100.0%	3,061	100.0%
無回答	53		57	

(参考) 延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
よく知っている	126	3.5%	173	4.3%	156	4.1%	169	4.2%
だいたい知っている	661	18.3%	700	17.4%	587	15.6%	581	14.3%
あまり知らない	985	27.2%	962	23.9%	958	25.4%	1,023	25.2%
知らない	1,843	51.0%	2,193	54.4%	2,065	54.8%	2,283	56.3%
計	3,615	100.0%	4,028	100.0%	3,766	100.0%	4,056	100.0%
無回答	149		111		107			

(参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	参考							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
よく知っている	88	4.1%	104	4.1%	133	5.4%	43	3.9%
だいたい知っている	741	34.7%	750	29.9%	718	29.2%	282	25.5%
あまり知らない	500	23.4%	659	26.3%	615	25.0%	303	27.3%
知らない	809	37.8%	994	39.6%	995	40.4%	480	43.3%
計	2,138	100.0%	2,507	100.0%	2,461	100.0%	1,108	100.0%
無回答	32		15		16			

(2)繰上返還制度の認知状況（択一）

無延滞者に対し、繰上返還制度の認知状況を、質問した。

「知っている（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）」と回答した者は、65.5%となっている。

表 8-2（無延滞者のみ）

（単位：人）

区分	27年度		（参考）26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	無延滞者		無延滞者		無延滞者		無延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
よく知っている	489	16.0%	386	18.0%	462	18.5%	435	17.7%	202	18.3%
だいたい知っている	1,515	49.5%	1,084	50.6%	1,197	47.8%	1,261	51.4%	545	49.3%
あまり知らない	583	19.0%	375	17.5%	483	19.3%	432	17.6%	200	18.1%
知らない	474	15.5%	299	13.9%	362	14.5%	326	13.3%	159	14.4%
計	3,061	100.0%	2,144	100.0%	2,504	100.0%	2,454	100.0%	1,106	100.0%
無回答	57		26		18		23			

(3)個人信用情報機関への登録の認知状況（択一）

無延滞者に対し、個人信用情報機関への登録の認知状況を質問した。

「知っている（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）」と回答した者は、34.5%である。平成23年度以降、個人信用情報機関への登録の認知率は徐々に高くなっている。

表 8-3（無延滞者のみ）

（単位：人）

区分	27年度		（参考）26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	無延滞者		無延滞者		無延滞者		無延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
よく知っている	265	8.7%	196	9.2%	208	8.3%	205	8.4%	77	7.0%
だいたい知っている	786	25.8%	519	24.3%	541	21.6%	462	18.9%	171	15.5%
あまり知らない	798	26.2%	563	26.4%	642	25.7%	603	24.6%	264	23.9%
知らない	1,197	39.3%	855	40.1%	1,110	44.4%	1,178	48.1%	592	53.6%
計	3,046	100.0%	2,133	100.0%	2,501	100.0%	2,448	100.0%	1,104	100.0%
無回答	72		37		21		29			

## 9 各種情報提供の利用等状況

### (1) スカラネット・パーソナルの認知状況（択一）

無延滞者に対し、スカラネット・パーソナルの認知状況を質問した。

知っている（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）と回答した者は、33.2%である。なお、経年変化をみると、この3年間でスカラネット・パーソナルの認知率は15.8%上昇している。

表 9-1-1（無延滞者のみ）

（単位：人）

区分	27年度		（参考）26年度		（参考）25年度		（参考）24年度	
	無延滞者		無延滞者		無延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
よく知っている	279	9.1%	163	7.6%	126	5.0%	115	4.7%
だいたい知っている	736	24.1%	387	18.1%	347	13.9%	311	12.7%
あまり知らない	821	26.8%	524	24.5%	626	25.0%	599	24.5%
知らない	1,223	40.0%	1,067	49.8%	1,403	56.1%	1,424	58.1%
計	3,059	100.0%	2,141	100.0%	2,502	100.0%	2,449	100.0%
無回答	59		29		20		28	

表 9-1-2（回答者：「奨学生本人」のみ）

（単位：人）

区分	27年度	
	無延滞者	
	人数	比率
よく知っている	258	10.5%
だいたい知っている	600	24.4%
あまり知らない	650	26.4%
知らない	953	38.7%
計	2,461	100.0%
無回答	25	

### (2) 日本学生支援機構送付文書類の閲覧状況（択一）

日本学生支援機構から送付した文書類について、延滞者の77.6%、無延滞者の84.9%が、「見る（「必ず見る」＋「だいたい見る」）」と回答している。

回答者が「奨学生本人」の場合に限っても、同様の傾向である。

表 9-2-1

（単位：人）

区分	27年度				（回答者奨学生本人のみ）			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
必ず見る	1,024	35.1%	1,356	43.6%	705	32.7%	1,021	41.1%
だいたい見る	1,242	42.5%	1,286	41.3%	933	43.2%	1,050	42.3%
あまり見ない	455	15.6%	358	11.5%	361	16.7%	318	12.8%
見ない	79	2.7%	66	2.1%	64	3.0%	59	2.4%
届いていない	72	2.5%	37	1.2%	56	2.6%	31	1.2%
その他	47	1.6%	8	0.3%	39	1.8%	6	0.2%
計	2,919	100.0%	3,111	100.0%	2,158	100.0%	2,485	100.0%
無回答	22		7		10		1	

(参考) 延滞者

(単位:人)

区分	(参考)							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
必ず見る	1,701	45.8%	1,743	42.8%	1,604	42.1%	1,717	41.7%
だいたい見る	1,441	38.8%	1,603	39.4%	1,480	38.8%	1,605	39.0%
あまり見ない	413	11.1%	472	11.6%	482	12.7%	520	12.6%
見ない	68	1.8%	92	2.3%	96	2.5%	103	2.5%
届いていない	48	1.3%	106	2.6%	120	3.1%	121	2.9%
その他	41	1.1%	53	1.3%	28	0.7%	54	1.3%
計	3,712	100.0%	4,069	100.0%	3,810	100.0%	4,120	100.0%
無回答	52		70		63			

(参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	(参考)							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
必ず見る	1,094	50.6%	1,097	43.6%	1,187	48.1%	537	48.6%
だいたい見る	796	36.8%	942	37.5%	898	36.4%	395	35.7%
あまり見ない	209	9.7%	329	13.1%	242	9.8%	118	10.7%
見ない	42	1.9%	71	2.8%	50	2.0%	18	1.6%
届いていない	16	0.7%	67	2.7%	78	3.2%	35	3.2%
その他	6	0.3%	9	0.4%	12	0.5%	2	0.2%
計	2,163	100.0%	2,515	100.0%	2,467	100.0%	1,105	100.0%
無回答	7		7		10			

## (3) 日本学生支援機構のホームページ閲覧状況 (択一)

延滞者の 60.0%、無延滞者の 50.6%が、日本学生支援機構ホームページを「見たことはない」と回答している。「見ることができない」は、延滞者では 9.9%で、無延滞者の 2.4%に比べてやや高い。

なお、回答者を「奨学生本人」に限ると、延滞者の「見ることができない」は 4.7%に半減する。

表 9-3-1

(単位:人)

区分	27年度				回答者奨学生本人のみ			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
およそ1ヶ月に1回以上見る	26	0.9%	17	0.5%	12	0.6%	17	0.7%
年に数回見る	149	5.1%	266	8.6%	131	6.1%	238	9.6%
過去に見たことがある	681	23.4%	1,170	37.6%	603	27.9%	996	40.1%
見たことはない	1,745	60.0%	1,575	50.6%	1,302	60.3%	1,191	47.9%
見ることができない	289	9.9%	74	2.4%	102	4.7%	38	1.5%
その他	20	0.7%	8	0.3%	8	0.4%	5	0.2%
計	2,910	100.0%	3,110	100.0%	2,158	100.0%	2,485	100.0%
無回答	31		8		10		1	

## (参考) 延滞者

(単位:人)

区分	(参考)							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
およそ1ヶ月に1回以上見る	23	0.6%	28	0.7%	19	0.5%	20	0.5%
年に数回見る	154	4.2%	166	4.1%	160	4.2%	155	3.8%
過去に見たことがある	736	20.0%	746	18.4%	631	16.7%	622	15.2%
見たことはない	2,128	57.8%	2,334	57.7%	2,189	57.8%	2,382	58.0%
見るができない	581	15.8%	748	18.5%	763	20.2%	882	21.5%
その他	58	1.6%	24	0.6%	22	0.6%	44	1.1%
計	3,680	100.0%	4,046	100.0%	3,784	100.0%	4,105	100.0%
無回答	84		93		89			

## (参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	(参考)							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
およそ1ヶ月に1回以上見る	7	0.3%	6	0.2%	10	0.4%	4	0.4%
年に数回見る	139	6.4%	123	4.9%	156	6.3%	59	5.3%
過去に見たことがある	723	33.4%	797	31.7%	733	29.7%	303	27.3%
見たことはない	1,235	57.1%	1,500	59.7%	1,486	60.3%	683	61.6%
見るができない	48	2.2%	79	3.1%	76	3.1%	56	5.0%
その他	11	0.5%	7	0.3%	5	0.2%	4	0.4%
計	2,163	100.0%	2,512	100.0%	2,466	100.0%	1,109	100.0%
無回答	7		10		11			

10 日本学生支援機構の奨学金に対する意識

(1) 日本学生支援機構からの情報提供（択一）

日本学生支援機構からの情報提供は十分と感じている者（「そう思う」＋「とてもそう思う」）は、延滞者では25.5%、無延滞者では35.9%である。

表 10-1

(単位:人)

区分	27年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
とてもそう思う	144	5.1%	100	3.2%
そう思う	577	20.4%	1,012	32.7%
どちらともいえない	1,242	43.8%	1,351	43.7%
そう思わない	550	19.4%	469	15.2%
まったくそう思わない	322	11.4%	163	5.3%
計	2,835	100.0%	3,095	100.0%
無回答	106		23	

(参考) 延滞者

(単位:人)

区分	(参考)							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
とてもそう思う	171	4.8%	228	5.8%	239	6.5%	212	5.3%
そう思う	948	26.7%	1,044	26.5%	979	26.5%	1,110	27.7%
どちらともいえない	1,443	40.7%	1,626	41.2%	1,540	41.7%	1,639	40.8%
そう思わない	696	19.6%	750	19.0%	641	17.3%	742	18.5%
まったくそう思わない	288	8.1%	298	7.6%	297	8.0%	310	7.7%
計	3,546	100.0%	3,946	100.0%	3,696	100.0%	4,013	100.0%
無回答	218							

(参考) 無延滞者

(単位:人)

区分	(参考)							
	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
とてもそう思う	95	4.4%	130	5.2%	121	4.9%	48	4.3%
そう思う	763	35.4%	827	33.0%	862	35.0%	381	34.5%
どちらともいえない	946	43.9%	1,064	42.5%	1,004	40.8%	483	43.7%
そう思わない	292	13.5%	376	15.0%	386	15.7%	156	14.1%
まったくそう思わない	61	2.8%	108	4.3%	88	3.6%	37	3.3%
計	2,157	100.0%	2,505	100.0%	2,461	100.0%	1,105	100.0%
無回答	13							

(2) 日本学生支援機構の奨学金に対する意識（択一）

「現在、奨学金の返還が負担になっている」について「とてもそう思う」＋「そう思う」と答えた者は、延滞者83.5%、無延滞者46.1%と大きな差がみられ、特に「とてもそう思う」が、延滞者では55.1%と半数を超える。「延滞への対応がきびしい」についても「とてもそう思う」＋「そう思う」の合計が、延滞者61.0%に対し、無延滞者は12.5%と大差がみられた。

「借りたものなので必ず返さなければならない」、「回収は強化すべき」の2つについては無延滞者にのみ質問した。「借りたものなので必ず返さなければならない」と思っている者は94.0%と、



返還義務に対する意識は高い。一方「回収は強化すべき」と感じている者は 54.6%で、「どちらともいえない」との意見も 38.5%にのぼった。

表 10-2-1 (延滞者)

(単位:人)

区分	返還負担度		督促のきびしさ度	
	現在、奨学金の返還が負担になっている		延滞への対応がきびしい	
	人数	比率	人数	比率
とてもそう思う	1,585	55.1%	1,080	37.6%
そう思う	817	28.4%	673	23.4%
どちらともいえない	377	13.1%	794	27.6%
そう思わない	77	2.7%	279	9.7%
まったくそう思わない	18	0.6%	49	1.7%
計	2,874	100.0%	2,875	100.0%
無回答	67		66	

表 10-2-2 (無延滞者)

(単位:人)

区分	返還負担度		督促のきびしさ度		返還義務度		回収強化度	
	現在、奨学金の返還が負担になっている		延滞への対応がきびしい		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
とてもそう思う	612	19.7%	136	4.4%	1,792	57.8%	756	24.4%
そう思う	819	26.4%	249	8.1%	1,123	36.2%	935	30.2%
どちらともいえない	771	24.9%	1,596	51.8%	132	4.3%	1,190	38.5%
そう思わない	683	22.0%	704	22.9%	40	1.3%	146	4.7%
まったくそう思わない	216	7.0%	395	12.8%	16	0.5%	67	2.2%
計	3,101	100.0%	3,080	100.0%	3,103	100.0%	3,094	100.0%
無回答	17		38		15		24	

表 10-3

表 10-1 および表 10-2 について、「そう思う」(「とてもそう思う」+「そう思う」)、「どちらともいえない」、「そう思わない」(「そう思わない」+「まったくそう思わない」)で集計した。

情報提供度	延滞者			無延滞者		
	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
日本学生支援機構からの情報提供は十分である	25.4%	43.8%	30.8%	35.9%	43.7%	20.4%
返還負担度	83.6%	13.1%	3.3%	46.1%	24.9%	29.0%
現在、奨学金の返還が負担になっている	83.6%	13.1%	3.3%	46.1%	24.9%	29.0%
督促のきびしさ度	61.0%	27.6%	11.4%	12.5%	51.8%	35.7%
延滞への対応がきびしい	61.0%	27.6%	11.4%	12.5%	51.8%	35.7%
返還義務度	93.9%	4.3%	1.8%	93.9%	4.3%	1.8%
借りたものなので必ず返さなければならない	93.9%	4.3%	1.8%	93.9%	4.3%	1.8%
回収強化度	54.7%	38.5%	6.9%	54.7%	38.5%	6.9%
回収は強化するべきである	54.7%	38.5%	6.9%	54.7%	38.5%	6.9%

**奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い**

日本学生支援機構では、返還者の状況を把握するため、返還中の方を対象にアンケート調査を行なっています。本調査票は、1月にインターネットでの回答をお願いした調査に回答いただけなかった方にお送りしています。お忙しいところ恐縮ですが、本調査への協力をお願いいたします。

回答をご記入の上、同封の返信用封筒により、平成28年3月11日（金）までに投函してください。

回答いただきました内容は、貴方の返還状況等と合わせて統計的に処理し、集計、分析に使用させていただきます。個人の名前や個人を特定できるような内容が外部にもれることはありません。また、調査・研究の目的以外に使用することは決してごさいません。今後の返還方法や奨学金制度を充実させるため、一人でも多くの方から回答をいただくことが大変重要です。重ねて本調査への協力をお願いいたします。

平成28年 2月 独立行政法人日本学生支援機構  
奨学事業戦略部奨学事業戦略課

※ 以下の設問の中で「奨学生本人」または「本人」とは、奨学金の貸与を受けられた方（宛名に印字の方）のことです。

- 1 このアンケートに回答された方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 1
- ①奨学生本人    ②本人の父母    ③本人の兄弟姉妹    ④本人の祖父母    ⑤本人のおじ・おば  
⑥本人の配偶者    ⑦その他( )

- 1-2 設問1で、「②～⑦」と回答した方にお聞きします。  
回答された方について、あてはまる番号を一つ記入してください。 1-2
- ①連帯保証人である    ②保証人である    ③機関保証の「本人以外の連絡先」である  
④「①～③」の二つ以上にあてはまる    ⑤「①～④」にあてはまらない    ⑥わからない

- 2 奨学生本人の状況についてお聞きします。  
本人の就労状況について、最もあてはまる番号を一つ記入してください。 2
- ①常勤社(職)員    ②常勤社(職)員(雇用期限がある)    ③非常勤社(職)員(週あたりの勤務時間が短く、雇用期限がある)  
④派遣社(職)員    ⑤自営業/家業    ⑥学生(留学を含む)    ⑦専業主婦(夫)    ⑧無職・失業中/休職中  
⑨その他( ) ※ パート・アルバイトの場合は③を記入してください。

- 3 奨学生本人に配偶者はいますか。あてはまる番号を一つ記入してください。 3
- ①いる    ②いない    ③わからない

- 3-2 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きします。(設問3で「①」以外を選択した方は設問3-4へ)  
配偶者は被扶養者ですか。 3-2
- ①はい    ②いいえ    ③わからない

3-3 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きします。配偶者はJASSOの奨学金の貸与を受けていましたか。

- ①はい ②いいえ ③わからない

3-3

3-4 奨学生本人に被扶養者は何人いますか。

- ※ 設問3-2で「①はい」と答えた方は、配偶者も人数に含めてください。  
被扶養者がいない場合は「0」と記入してください。わからない場合は無記入としてください。

3-4 人

4 奨学生本人は親と同居していますか。当てはまる番号を一つ記入してください。

- ①親と同居している ②親と同居していない ③わからない

4

5 奨学生本人の収入（最近1年分）についてお聞きします。あてはまる番号を一つ記入してください。

- ①0円 ②100万円未満 ③100～200万円未満 ④200～300万円未満  
⑤300～400万円未満 ⑥400～500万円未満 ⑦500～600万円未満 ⑧600～700万円未満  
⑨700～800万円未満 ⑩800～900万円未満 ⑪900～1000万円未満 ⑫1000万円以上

5

6 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。

- ①申込手続きを行う前 ②申込手続き中 ③貸与中 ④貸与終了時 ⑤貸与終了後～返還開始前  
⑥返還開始～督促前 ⑦延滞督促を受けてから ⑧わからない ⑨その他( )

6

7 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きします。進学することをいつごろ決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。

- ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点  
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後(浪人中、進学してから) ⑥わからない

7

8 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きします。奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。

- ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点  
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後(浪人中、進学してから) ⑥わからない

8

9 奨学金の申請をどなたかに勧められましたか。最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①親(または祖父母等の家族、親戚)に勧められた ②学校の先生や職員に勧められた  
③友人・知人に勧められた ④「①～③」以外の人に勧められた( )  
⑤勧められなかった ⑥わからない

9

10 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①本人 ②親(または祖父母等の家族、親戚) ③本人と親等 ④わからない ⑤その他( )

10

11 主に奨学金を返還している方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。

- ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば  
⑥本人の配偶者 ⑦その他( )

11

11-2 設問11で「②～⑦」と回答した方にお聞きします。主に奨学金を返還している方について、あてはまる番号を一つ記入してください。

- ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である  
④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない

11-2

12 奨学金を返還するための原資についてお聞きします。最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①給与など働いて得る収入 ②年金など ③預貯金 ④その他( )

12

13 奨学金返還のための振替用口座(リレー口座)に加入していますか(または、以前に加入していましたか)。あてはまる番号を一つ記入してください。 13

①加入している(加入していた)      ②加入していない      ③わからない

14 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。あてはまる番号を記入してください。 14

①奨学金を申し込む前から知っていた      ②返還が始まる前までには知っていた  
③返還が始まってから知った      ④延滞督促を受けてから知った      ⑤知らない

14-2 設問14で「①～④」と回答した方にお聞きします。(「⑤知らない」と回答した方は設問15へ)

ア)返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きします。あてはまる番号を一つ記入してください。 14-2ア

①現在、利用中である  
②申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む)  
③過去に利用したことがあるが、今は利用していない  
④一度も利用したことがない  
⑤その他( )

イ)設問アで「③過去に利用したことがあるが、今は利用していない」または「④一度も利用したことがない」と回答した方にお聞きします。利用しない理由について最もあてはまる番号を一つ記入してください。(設問アで「③」または「④」以外を選択した方は設問ウへ) 14-2イ

①返還期限猶予制度の基準に該当しないため      ②延滞期間に関する証明書の取得が困難なため  
③すでに猶予期間(通算120か月)を利用してしまったため      ④猶予申請しないで返還する予定のため  
⑤猶予申請手続きに手間がかかるため      ⑥手続きがよくわからない、よく知らなかったため  
⑦その他( )

ウ)返還期限猶予制度をどこから知りましたか。あてはまる番号を全て記入してください。 14-2ウ

①奨学金申請時・採用時の資料で      ③日本学生支援機構のホームページで  
②「返還のてびき」を読んで      ⑤返還相談センターに電話して      ⑥学校の説明会で  
④機構(旧日本育英会)からの通知で      ⑧連帯保証人・保証人以外の家族や友人・知人から      ⑨債権回収会社から  
⑦連帯保証人・保証人から      ⑩その他( )

エ)返還期限猶予制度の猶予期間は、平成26年度に通算60か月から通算120か月に延長されました。猶予期間(通算120か月)についてお聞きします。あてはまる番号を一つ記入してください。 14-2エ

①短い      ②どちらかといえば短い      ③どちらともいえない      ④どちらかといえば十分      ⑤十分

15 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延長し返還の月額を減額する減額返還制度がありますが、この制度をご存知ですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 15

①よく知っている      ②だいたい知っている      ③あまり知らない      ④知らない

16 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きします。あてはまる番号を一つ記入してください。 16

①必ず見る      ②だいたい見る      ③あまり見ない      ④見ない      ⑤届いていない      ⑥その他( )

17 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。このホームページの閲覧についてお聞きします。最もあてはまる番号を一つ記入してください。 17

①おおよそ1か月に1回以上見る      ②年に数回見る      ③過去に見たことがある      ④見たことはない  
⑤見るできない      ⑥その他( )

18	日本学生支援機構の奨学金に対してどのようなことを感じていますか。 ア～ウについて、それぞれあてはまる欄に○を記入してください。	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	まったくそう思わない
	ア)日本学生支援機構からの情報提供は十分である					
	イ)現在、奨学金の返還が負担になっている					
	ウ)延滞への対応がきびしい					

- 19 延滞が始まった理由(きっかけ)についてお聞きします。  
あてはまる番号を全て記入してください。  
また、その中で最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)  
②返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス  
③家計の収入が減った  
④家計の支出が増えた  
⑤入院、事故、災害等にあったため  
⑥奨学金は返還するものだとは思っていなかった  
⑦その他( )

19

19 最もあてはまるもの

- 20 現在も返還が遅れている理由についてお聞きします。  
あてはまる番号を全て記入してください。  
また、その中で最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①本人の低所得  
②本人が失業中(無職)  
③本人が学生(留学を含む)  
④本人が病気療養中  
⑤本人の借入金の返済  
⑥本人の親の経済困難(本人が親へ経済援助をしており支出が多い)  
⑦本人の親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)  
⑧本人の配偶者の経済困難  
⑨家族の病気療養  
⑩忙しい(金融機関に行けない等)  
⑪奨学金の延滞額の増加  
⑫奨学金は返還するものだとは思っていない  
⑬その他( )

20

20 最もあてはまるもの

- 21 今後の返還の見通しについてお聞きします。  
最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①決められた月額等を返還できると思う  
②決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う  
③決められた月額等の半額程度返還できると思う  
④決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う  
⑤返還できないと思う  
⑥わからない

21

- 22 日本学生支援機構の奨学金制度について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

この回答用紙および同封の返信用封筒は、個別のご相談にはご利用いただけません。

○ご相談、お問合せは「奨学金返還相談センター」までお願いします。

電話 : 0570-666-301 (ナビダイヤル・全国共通)

月曜～金曜・8時30分～20時00分(祝日・年末年始を除く)

ナビダイヤルをご利用できない場合は03-6743-6100へおかけください。

日本学生支援機構ホームページ << <http://www.jasso.go.jp/> >>

ご協力ありがとうございました。



- 3-3 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きます。配偶者はJASSOの奨学金の貸与を受けていましたか。 3-3
- ①はい ②いいえ ③わからない
- 3-4 奨学生本人に被扶養者は何人いますか。 3-4  人
- ※設問3-2で「①はい」と答えた方は、配偶者も人数に含めてください。  
被扶養者がいない場合は「0」と記入してください。わからない場合は無記入としてください。
- 4 奨学生本人は親と同居していますか。あてはまる番号を一つ記入してください。 4
- ①親と同居している ②親と同居していない ③わからない
- 5 奨学生本人の収入（最近1年分）についてお聞きます。あてはまる番号を一つ記入してください。 5
- ①0円 ②100万円未満 ③100～200万円未満 ④200～300万円未満  
⑤300～400万円未満 ⑥400～500万円未満 ⑦500～600万円未満 ⑧600～700万円未満  
⑨700～800万円未満 ⑩800～900万円未満 ⑪900～1000万円未満 ⑫1000万円以上
- 6 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。 6
- ①申込手続きを行う前 ②申込手続き中 ③貸与中 ④貸与終了時 ⑤貸与終了後～返還開始前  
⑥返還開始～督促前 ⑦延滞督促を受けてから ⑧わからない ⑨その他( )
- 7 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。 7
- 進学することをいつごろ決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点  
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後（浪人中、進学してから） ⑥わからない
- 8 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。 8
- 奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点  
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後（浪人中、進学してから） ⑥わからない
- 9 奨学金の申請をどなたに勧められましたか。最もあてはまる番号を一つ記入してください。 9
- ①親(または祖父母等の家族、親戚)に勧められた ②学校の先生や職員に勧められた  
③友人・知人に勧められた ④「①～③」以外の人に勧められた( )  
⑤勧められなかった ⑥わからない
- 10 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。 10
- 最も当てはまる番号を一つ記入してください。
- ①本人 ②親(または祖父母等の家族、親戚) ③本人と親等 ④わからない ⑤その他( )
- 11 主に奨学金を返還している方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 11
- ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父 ⑤本人のおじ・おば  
⑥本人の配偶者 ⑦その他( )
- 11-2 設問11で「②～⑦」と回答した方にお聞きます。主に奨学金を返還している方について、 11-2
- あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である  
④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない

- 12 奨学金を返還するための原資についてお聞きます。最もあてはまる番号を一つ記入してください。 12
- ①給与など働いて得る収入 ②年金など ③預貯金 ④その他( )
- 13 奨学金返還のための振替口座(リレー口座)に加入していますか(または、以前に加入していましたか)。 13
- あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①加入している(加入していた) ②加入していない ③わからない
- 14 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。 14
- あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①奨学金を申し込む前から知っていた ②返還が始まる前までには知っていた  
③返還が始まってから知った ④延滞督促を受けてから知った ⑤知らない
- 14-2 設問14で「①～④」と回答した方にお聞きます(「⑤知らない」と回答した方は設問15へ) 14-2ア
- ア)返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きます。  
あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①利用したことがある(現在、利用中である)  
②利用したかったが、基準に合わなかった  
③利用したことがない
- イ)返還期限猶予制度をどこから知りましたか。 14-2イ
- あてはまる番号を全て記入してください。
- ①奨学金申請時・採用時の資料で ②「返還のてびき」を読んで ③日本学生支援機構のホームページで  
④機構(旧日本育英会)からの通知で ⑤返還相談センターに電話して ⑥学校の説明会で  
⑦連帯保証人・保証人から ⑧連帯保証人・保証人以外の家族や友人・知人から  
⑨債権回収会社から ⑩その他( )
- 15
- | 日本学生支援機構の制度についてお聞きます。<br>ア～エについて、それぞれあてはまる欄に○を記入してください。                         | よく知っている | だいたい知っている | あまり知らない | 知らない |
|---|---------|-----------|---------|------|
| ア)減額返還制度(奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円以下が目安)等である場合、返還期限を延長し毎月の返還額を減額するしくみ)              |         |           |         |      |
| イ)繰上返還制度(返還期日がきていない将来の返還分の一部または全額を繰り上げて返還することができるしくみ)                           |         |           |         |      |
| ウ)一定期間延滞した場合の個人情報情報機関への登録(登録は「個人情報情報の取扱いに関する同意書」提出者のみ)                          |         |           |         |      |
| エ)スカラネット・パーソナル(インターネット上で自分自身の奨学金に関する情報や登録されている内容を閲覧したり、転居・改姓・勤務先変更等の届出ができるサービス) |         |           |         |      |
- 16 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きます。 16
- 最もあてはまる番号を一つ記入してください。
- ①必ず見る ②だいたい見る ③あまり見ない ④見ない ⑤届いていない ⑥その他( )
- 17 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。 17
- このホームページの閲覧についてお聞きます。最もあてはまる番号を一つ記入してください。
- ①おおよそ1か月に1回以上見る ②年に数回見る ③過去に見たことがある ④見たことはない  
⑤見ることができない ⑥その他( )



18	日本学生支援機構の奨学金に対してどのようなことを感じていますか。 ア～オについて、それぞれあてはまる欄に○を記入してください。	とても そう思う	そう 思う	どちら とも いえない	そう 思わない	まったく そう 思わない
	ア)日本学生支援機構からの情報提供は十分である					
	イ)現在、奨学金の返還が負担になっている					
	ウ)借りたものなので必ず返さなければならない					
	エ)延滞している人への回収は強化するべきである					
	オ)延滞への対応がきびしい					

19 今までに奨学金の返還を延滞したことがありますか。あてはまる番号を一つ記入してください。 19

①延滞したことがない      ②延滞したことがある      ③わからない

19-2 設問19で「②延滞したことがある」と回答した方にお聞きします。  
(「①」または「③」と回答した方は設問20へ)

ア)延滞になったことをどこから知りました。  
あてはまる番号を全て記入してください。

19-2ア

①機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知      ②機構(旧日本育英会)からの電話      ③連帯保証人・保証人からの連絡  
④口座残高を確認して      ⑤親・家族等からの連絡      ⑥債権回収会社からの連絡  
⑦その他( )

イ)延滞をどのように解消しましたか。あてはまる番号を全て記入してください。 19-2イ

①本人が延滞額を支払った(口座振替を含む)      ②本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)  
③返還期限猶予願が承認された      ④その他( )

ウ)延滞した場合の返還方法は主に払込票(銀行・郵便局窓口)によるもの  
ですが、延滞をより早く解消できたと思われる返還方法はありますか。  
もしあれば、あてはまる番号を全て記入してください。

19-2ウ

①リレー口座からの引落し(延滞額の一部でも)      ②機構の口座への振込み      ③払込票(コンビニ支払い)  
④インターネットバンキング(振込)      ⑤債権回収会社      ⑥その他( )

20 日本学生支援機構の奨学金は主にどのように役立ちましたか。あてはまる番号を全て記入してください。

①奨学金のおかげで進学が可能となった      ②修学費に充てる金額を多くできた  
③家計の負担を軽減できた      ④アルバイトの時間を減らすことができた  
⑤その他( )

20

21 日本学生支援機構の奨学金制度について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

この回答用紙および同封の返信用封筒は、個別のご相談にはご利用いただけません。  
○ご相談、お問合せは「奨学金返還相談センター」までお願いします。  
電話 : 0570-666-301 (ナビダイヤル・全国共通)  
月曜～金曜・8時30分～20時00分 (祝日・年末年始を除く)  
ナビダイヤルをご利用できない場合は03-6743-6100へおかけください。

日本学生支援機構ホームページ < <http://www.jasso.go.jp/> >

ご協力ありがとうございました。